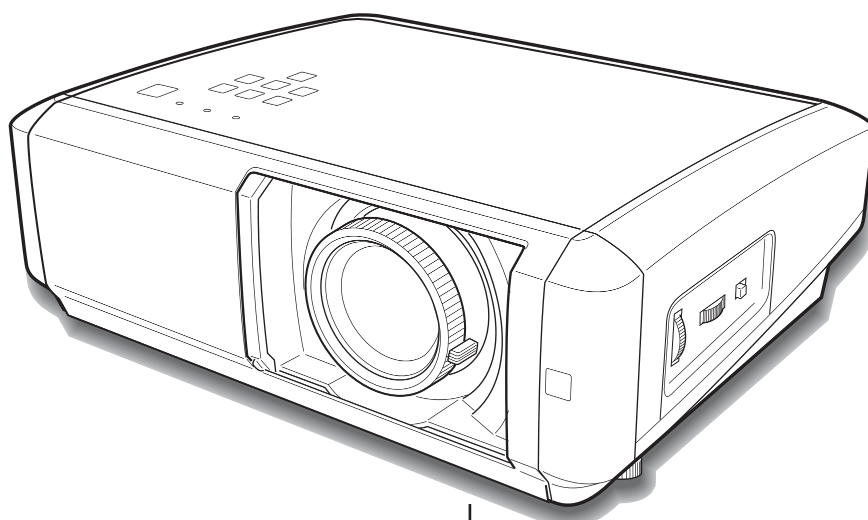
取扱説明書

SANYO

液晶プロジェクター
品番 LP-Z5

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに4～11ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



品番表示（底面）

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ホームユース液晶プロジェクター LP-Z5 の特徴

約276万画素ワイド液晶パネル採用で高精細大画面を実現

短焦点投映レンズ＆ズーム高倍率採用で、6畳間からリビングまで、あらゆる場所で大画面投映を実現

インテリアにマッチするスタイリッシュ＆シンプルデザイン

- 生活空間に溶け込むスタイリッシュ＆シンプルデザインを採用。また、デザイン性と機能性（レンズ保護）を融合した電動シャッターも装備。

上下左右レンズシフト機能

- 画質を損なわずに設置位置が自由に選択可能。

さまざまな高画質回路や機能が満載

- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。
- 画質の細部までお好みに調整することができる「アドバンストメニュー」機能。
- ビデオ映像をより高画質に投映できる「プログレッシブ スキャン」機能。
- 赤みや青みを帯びた映像をお好みの色調に調整できる「色温度切換」機能。
- お好みの階調に調整可能、10ビットデジタルガンマ補正機能。
- ムラの少ない大画面を実現、3次元デジタル色ムラ補正機能。
- 投映している映像をお好みの色に調整できる「カラーマネージメント」機能。

TWINアイリス機能

- 画質モードに連動した「レンズアイリス」、シーンに連動した「ランプアイリス」で調整することができます。

かんたんに、またはこだわりの画質が選べるイメージモード

- 見る映像に合わせて、最適な画質をかんたんに選択できる、7つの「プリセットイメージ」モード。
- お好みの画質に調整して、登録することができる、4つの「ユーザーイメージ」モード。

キャプチャー機能でお好きな画像（静止画）を取込み、電源ON時に投映可能なユーザーロゴ機能を搭載。

豊富な接続端子群を装備

- コンポーネント端子はもちろん、S映像端子、D4端子を装備。

HDMI端子搭載（2系統）

- ハイビジョン放送などのデジタル映像をそのままの画質で再生、投映できます。

コンピュータにも接続可能・豊富な機能

- アナログRGB信号を入力可能なミニD-Sub15ピン端子を装備。
- コンピュータの種類の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動調整」機能。
- 表示されている映像を一時的に消す「NO SHOW」機能。
- VGAからS-XGA（一部圧縮対応）まで投映可能（RGB信号入力時）

海外の映像システムにも対応する6カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-Nカラーシステムに対応。

天吊り、据置、リア投映、壁掛けなど、さまざまな設置方法に対応

ランプの明るさを調整することができるランプモード

電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

ライトアップ機能付き多機能ワイヤレスリモコン付き

～本説明書中の記号について～	
(電球マーク)	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
(指マーク)	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例：[SELECT]ボタン、[VIDEO] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例：「コントラスト」、「キーストーン」

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

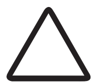
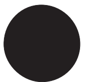
安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

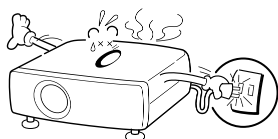
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

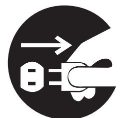
■絵表示の例

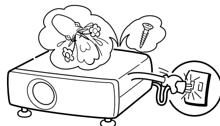
	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。  たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。  たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。  たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警告



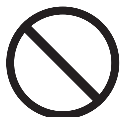






下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

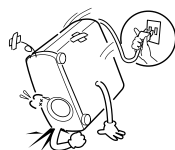
- 煙が出ている
- 変なにおいや音がする
- 水など液体が本機の内部に入った
- 金属類や異物が本機の内部に入った
- 画面が映らない
- 音が出ない
- 大きな音が出てランプが消えた

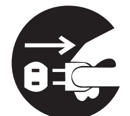


故障したまま使用しない。

火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



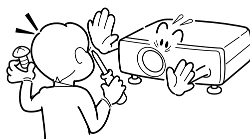


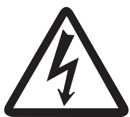


万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

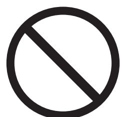






本機のキャビネットは外さないでください。

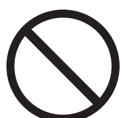
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※１つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。





本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告



風呂、シャワー室
での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

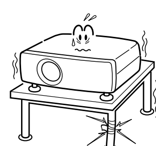


本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁　止



不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

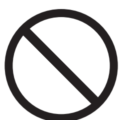
ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、事故やけがの原因となります。



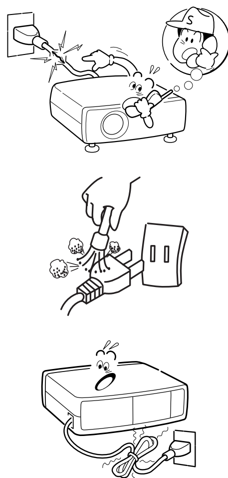
警　告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取付が不十分のときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談下さい。



禁　止

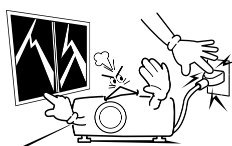


電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
  コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
  コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ･ごみ･汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）
- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



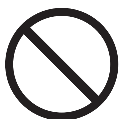
接触禁止



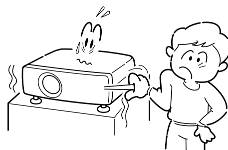
雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

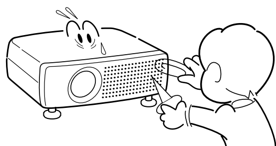
感電の原因となります。

⚠ 警 告



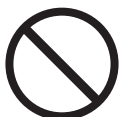
禁　止





吸気口・排気口にご注意下さい。

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁　止

本機・リモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



アース線を接続せよ

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。（詳しくは、24ページをご覧ください。）



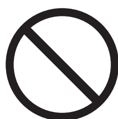
警　告

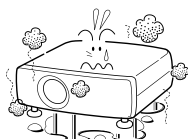


使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

⚠ 注 意


禁　止

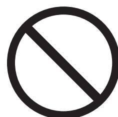


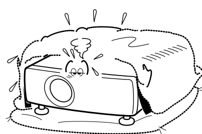

以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。


禁　止



ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。

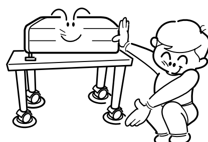
● 空調設備の排気ダクト付近、冷暖気が直接当たる場所などに設置しないでください。

● 次のような使い方はしないでください。

* 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
* 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
* じゅうたんや布団の上に置く。
* テーブルクロスなどを掛ける。

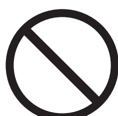
● また、壁など、周囲のものから1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。


注　意



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

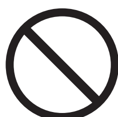
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

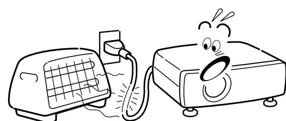

禁　止



本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

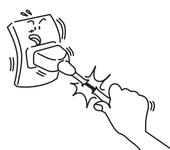

禁　止



電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。


禁　止



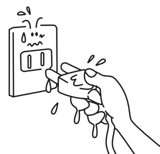
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

また、差し込むときは、根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。

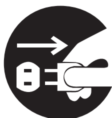
⚠ 注 意


ぬれ手禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

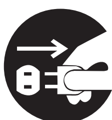
感電の原因となることがあります。


電源プラグを
コンセントから抜け



移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。


電源プラグを
コンセントから抜け



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

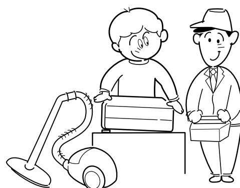

電源プラグを
コンセントから抜け



長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。


注 意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護や破損を防ぐためにスライドシャッターを閉じ、レンズシフトロックを固定してください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、ご注意ください。

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

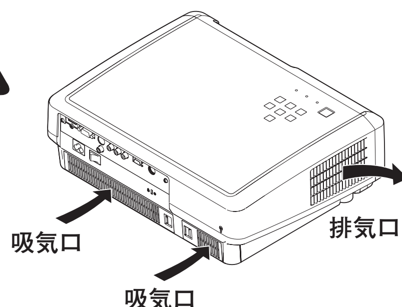
設置するときは次のことに注意してください

● 吸・排気口にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。







熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

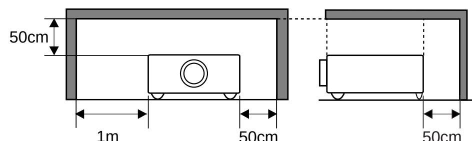
● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	－10℃～60℃

● 壁などから50cm以上（排気口は1m）隙間をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。



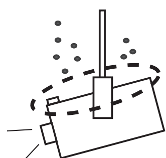
● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約200時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は53ページをご覧ください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

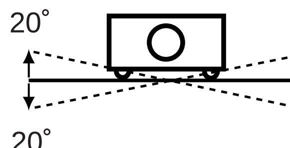


天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。



正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置してください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



傾きは20度以内に

左右への傾きは各20度以内としてください。


横置き禁止

横に立てて設置して投映しないでください。


下向き禁止

下向きに設置して投映しないでください。

⚠ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE］インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

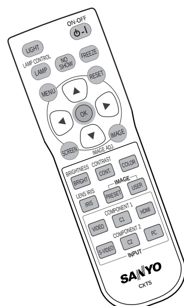
プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

はじめに

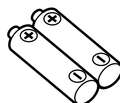
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

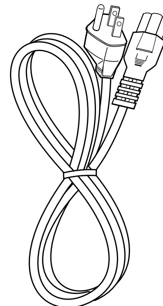
1 リモコン



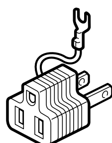
2 リモコン用アルカリ乾電池（単3形2本）



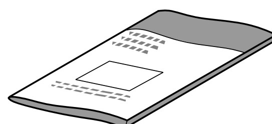
3 電源コード



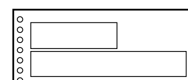
4 電源プラグアダプタ



5 取扱説明書



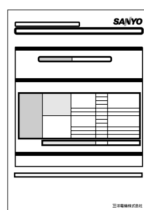
6 保証書



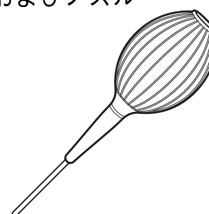
7 ユーザー登録カード・個人情報保護シール



8 お客さまご相談窓口一覧



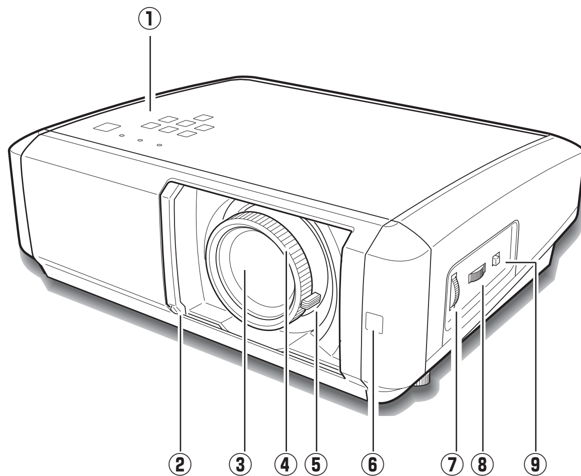
9 クリーニング用ブロア＊およびノズル



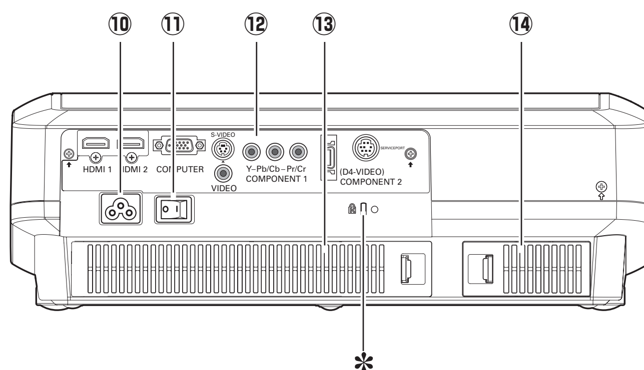
＊ LP-Z5専用です。LP-Z4、LP-Z3、LP-Z1Xには使用しないでください。

各部の名称

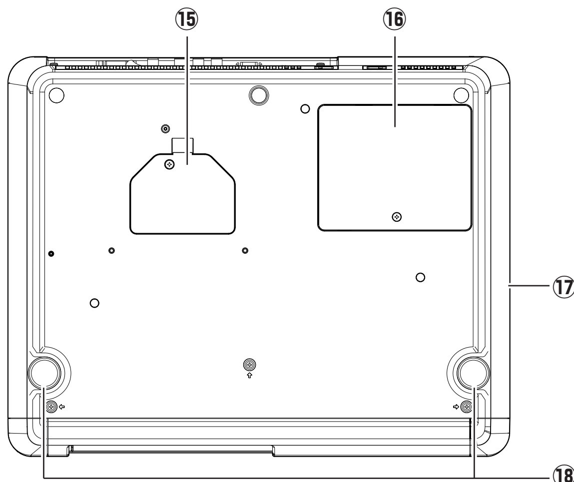
前面



後面



底面



⚠ ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

① 操作パネル・インジケータ
② 電動シャッター
③ レンズ
④ フォーカスリング
⑤ ズームレバー
⑥ リモコン受信部
⑦ レンズシフト（上下）
⑧ レンズシフト（左右）
⑨ レンズシフトロック
⑩ 電源コード接続ソケット
⑪ 主電源スイッチ
⑫ 後面端子
⑬ 吸気口 ＊1
⑭ 吸気口 ＊1
⑮ ボトムカバー（クリーニング窓）
⑯ ランプカバー
⑰ 排気口 ＊2
⑱ 調整脚

＊ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

＊1



内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

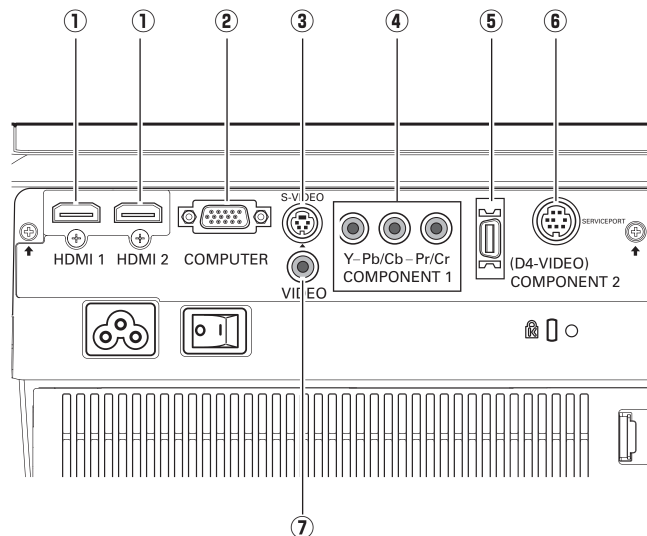
＊2



スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

機器をつなぐ端子

後面端子



① **HDMI 1/HDMI 2（HDMI入力端子）** ✻
☞22ページ
DVDプレーヤやハイビジョン受信機などで、HDMI端子出力のある機器からの信号を入力します。

② **COMPUTER（コンピュータ入力端子）**
☞23ページ
コンピュータからのアナログ（RGB）出力と接続します。接続には市販のD-sub用コンピュータケーブルを使用します。

③ **S-VIDEO（S映像入力端子）** ☞21ページ
ビデオ機器からのS映像出力をこの端子に接続します。

④ **COMPONENT 1** ☞21ページ
DVDプレーヤやハイビジョン受信機、ゲーム機などを接続します。

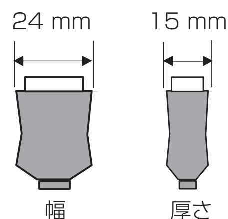
⑤ **COMPONENT 2（D4-VIDEO）** ☞22ページ
DVDプレーヤやハイビジョン受信機、ゲーム機などで、D端子出力のある機器からの信号を入力します。
またビデオ機器からのコンポーネント信号も入力することができます。

⑥ **サービス用端子**
サービスマン用の端子です。

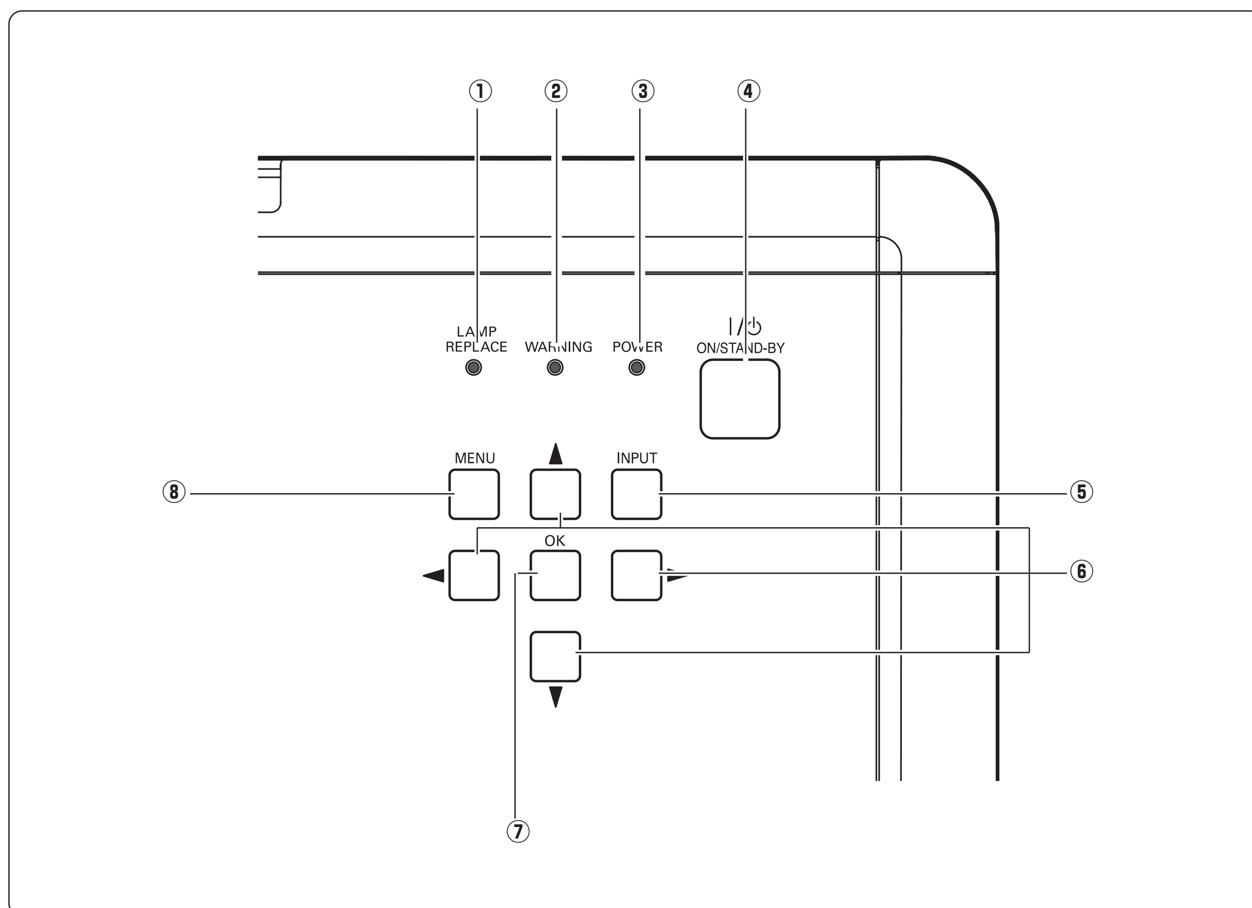
⑦ **VIDEO（ビデオ入力端子）** ☞21ページ
ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。

✻ **HDMIケーブルについて**

HDMI 1とHDMI 2の端子にケーブルを同時につなぐときは、下図の幅・厚さ以下のケーブルをご使用ください。



操作パネルとインジケータ



① LAMP REPLACE（ランプ リプレイス） インジケータ ☞51、57ページ
ランプの交換時期を知らせます。

② WARNING（ワーニング） インジケータ ☞56、57ページ
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。

③ POWER（パワー） インジケータ ☞25、26、57ページ
プロジェクターの状態を示します。

点灯（赤）：電源を入れる準備ができました。
点滅（赤）：電源を入れる準備ができるまで、またはランプの冷却中です。
点灯（緑）：プロジェクターは動作中です。
点滅（緑）：パワーマネージメントモードがはたらいています。
点滅（オレンジ）：
［電動シャッター］が途中で止まっています。

④ ON/STAND-BY（オン/スタンバイ） ボタン ☞25、26ページ
電源を入り・切りします。

⑤ INPUT（インプット） ボタン ☞31ページ
インプット（入力）を切り換えます。

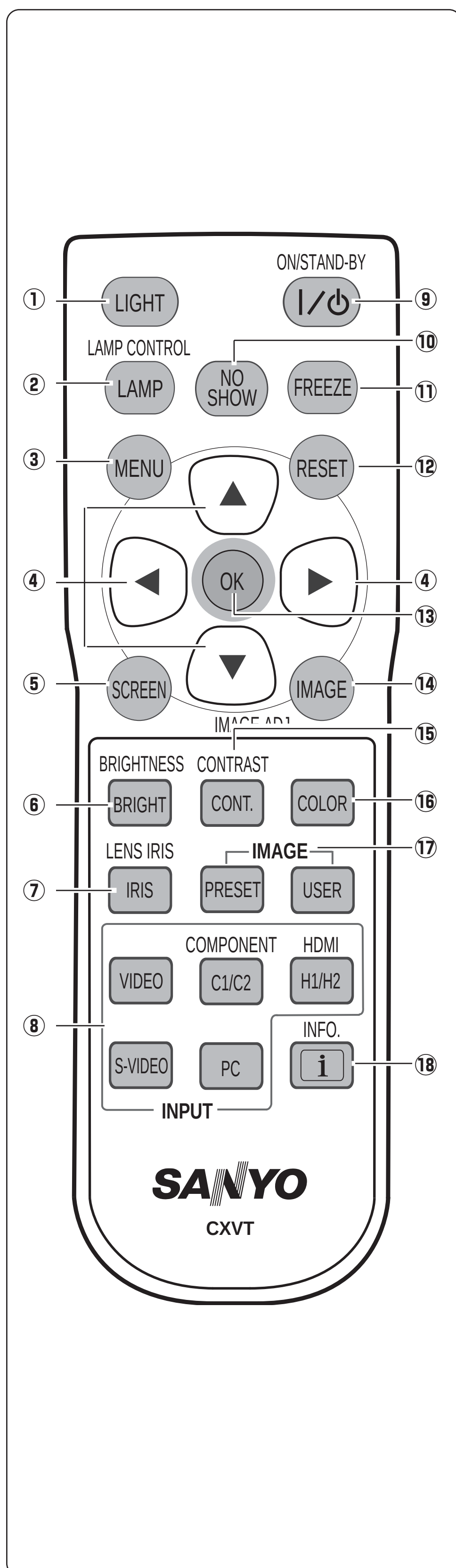
⑥ ポイント ボタン ☞29ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や、メニューの調整に使用します。

⑦ OK（オーケイ） ボタン ☞29ページ
ポインタの指す項目を選択します。

⑧ MENU（メニュー） ボタン ☞29、30ページ
メニューを表示します。

※ ［POWER］インジケータが赤く点滅し、同時に［LAMP REPLACE］インジケータが黄色に点滅しているときは、ランプの冷却が完了していません。冷却が終わってから電源を入れなおしてください。それでもランプが点灯しないときは、ランプの寿命かまたはランプが故障しています。

リモコンのボタン



① LIGHT ボタン
1 回押すと、操作ボタンが約10秒間点灯します。

② LAMP (LAMP CONTROL) ボタン ☞28ページ
ランプモードを選択します。

③ MENU ボタン ☞29、30ページ
メニューを表示します。

④ ポイント ボタン ☞29ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整に使用します。

⑤ SCREEN ボタン ☞39ページ
表示モードを選択します。

⑥ BRIGHT (BRIGHTNESS) ボタン ☞34ページ
「イメージ調整」の「明るさ」の調整メニューを表示します。

⑦ IRIS (LENS IRIS) ボタン ☞35ページ
「イメージ調整」の「レンズアイリス」の調整メニューを表示します。

⑧ INPUT ボタン ☞31ページ
入力を選択します。

⑨ I/⏻（ON/STAND-BY）ボタン ☞25、26ページ
電源を入り・切りします。

⑩ NO SHOW ボタン ☞28ページ
画面を一時的に消します。

⑪ FREEZE ボタン ☞28ページ
画面を一時的に静止させます。

⑫ RESET ボタン
メニューの「イメージ調整、画面調整、キーストーン、ズーム*、字幕イン*、ノーマルスルー**」を選択しているときに機能します。
調整した後にこのボタンを押すと、調整する前の値に戻ります。
*「垂直調整」の調整値。**有効投映画面より大きいときに表示される矢印の調整値。

⑬ OK ボタン ☞29ページ
ポインタの指す項目を選択します。

⑭ IMAGE (IMAGE ADJ.) ボタン ☞34ページ
「イメージ」メニューを呼び出し、調整をします。
※ 前回最後に選択した項目が表示されます。

⑮ CONT. (CONTRAST) ボタン ☞34ページ
「イメージ調整」の「コントラスト」の調整メニューを表示します。

⑯ COLOR ボタン ☞34ページ
「イメージ調整」の「色の濃さ」の調整メニューを表示します。

⑰ IMAGE ボタン ☞32ページ
イメージモードを選択します。

⑱ i (INFO.) ボタン ☞42ページ
メニューの「インフォメーション」を表示します。

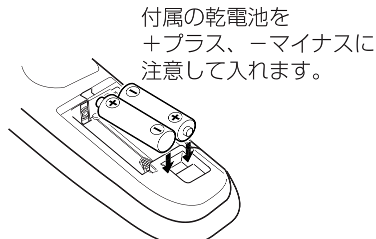
リモコンの準備

電池の入れかた

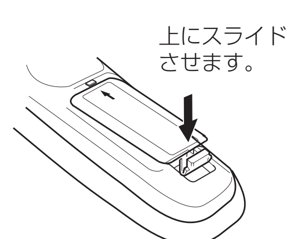
1　電池カバーを開けます。



2　電池を入れます。



3　電池カバーを閉めます。



電池を使用するときのご注意

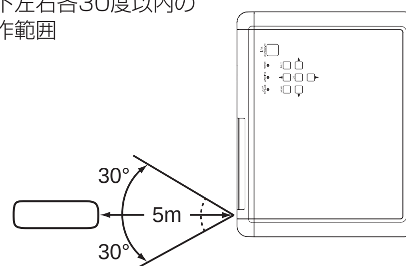




電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。
・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
・乾電池は充電しない。分解しない。
・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。
また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。
・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30度以内です。
※ 間に障害物があると操作の妨げになります。



リモコンを使用するときのご注意

・ 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
・ 液状のものをかけない。
・ 落としたり衝撃を与えない。
・ 熱や湿気をさける。

リモコンコードの設定

本機は2種類のリモコンコードの設定が可能です。2台のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコードに変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。
たとえば、本機（プロジェクター）を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。

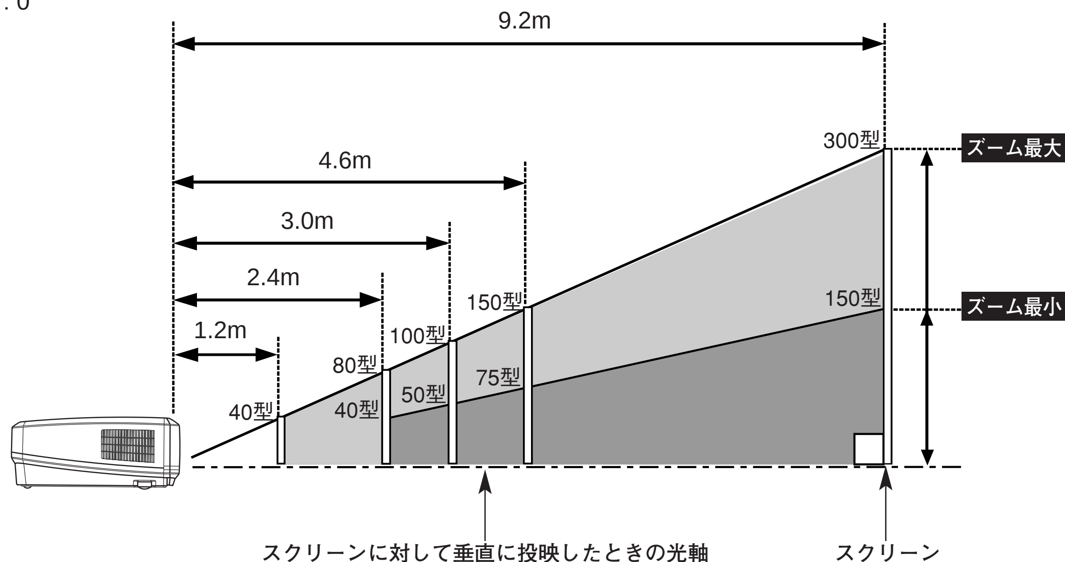
リモコンコードの切り換え方

リモコンの［MENU］と［IMAGE］ボタンの両方を同時に5秒以上押すと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。また、長期間電池を入れずにいると、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。
※ プロジェクターのリモコンコードを切り換えるには「セッティング」メニュー内で行ないます。☞48ページ
※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。
※ 電池を交換したときは、リモコンコードを再設定してください。

設置のしかた

スクリーンからのおよその投映距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約1.2m〜9.2mの範囲に設置してください。

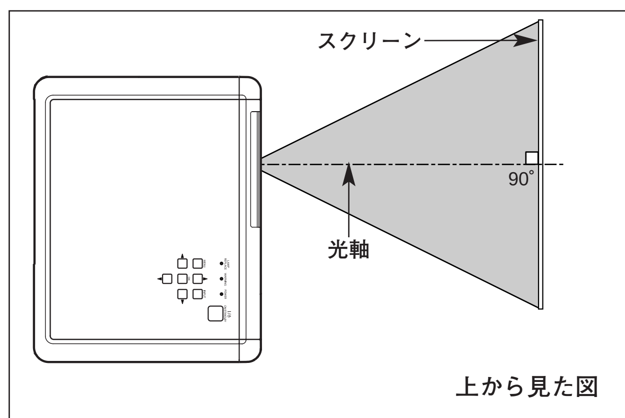


画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	40 型	80 型	100 型	150 型	300 型
	886 x 498	1771 x 996	2214 x 1245	3321 x 1868	6641 x 3736
投映距離 (ズーム最小)	2.4m	4.9m	6.1m	9.2m	——
投映距離 (ズーム最大)	1.2m	2.4m	3.0m	4.6m	9.2m

※ 上表はアスペクト比16：9の画面で投映した画面サイズの目安です。投映画像の内容により画面サイズは異なります。
☞39〜41ページ
※ 上図はレンズシフトで画面を上方向に投映したものです。
※ およその投映距離はレンズ設計仕様に基づく計算値です。レンズのばらつきなどにより最大5%程度の誤差を有する場合があります。

スクリーンに対して直角に設置する

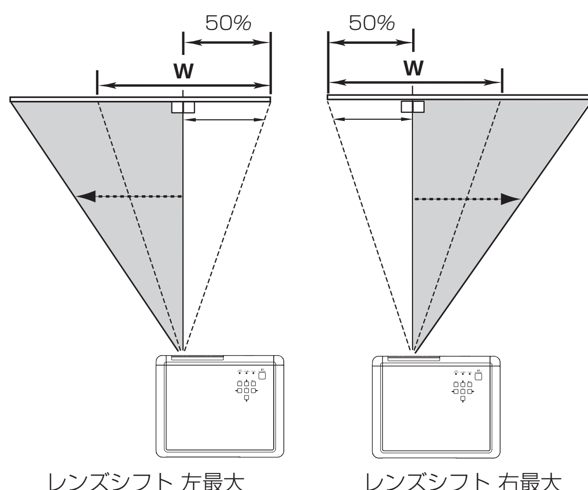
投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



レンズシフトで投影画面の位置を合わせる

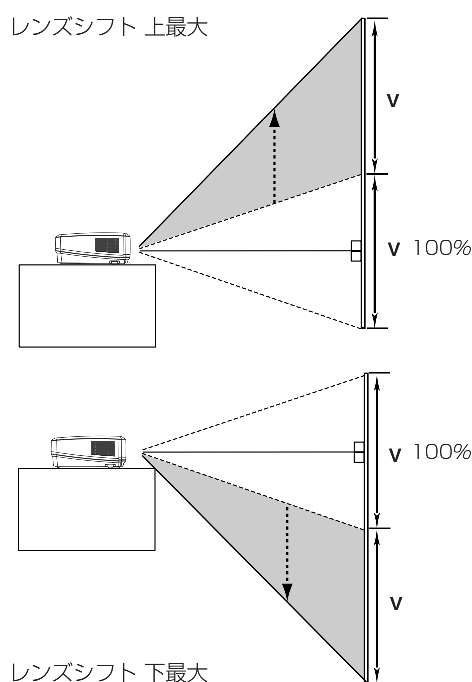
水平位置を合わせる

レンズシフト（水平位置調整）で画面の水平位置を合わせます。レンズ中央部から、左右にそれぞれ画面の約50%の範囲で移動できます。



垂直位置を合わせる

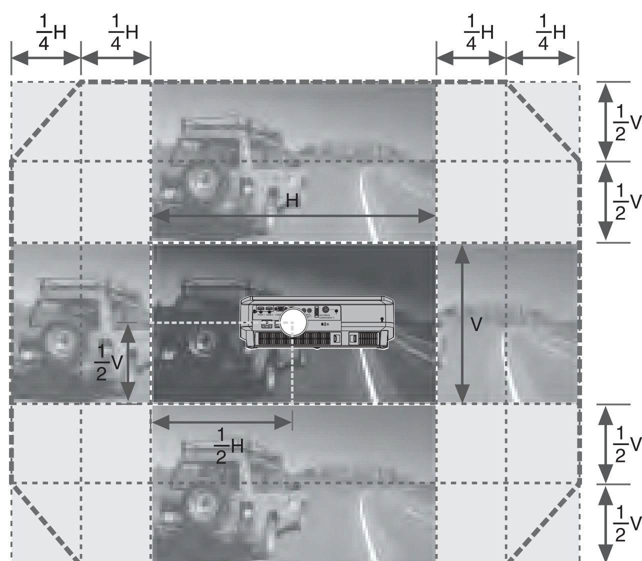
レンズシフト（垂直位置調整）で画面の垂直位置を合わせます。レンズ中央部から、上下にそれぞれ画面の1画面（100%）の範囲で移動できます。

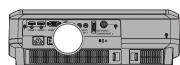


メモ

一般的にレンズシフト中央部で最良の画質が再現されます。レンズシフトを最大まで移動させたとき、端の部分がゆがんで見える場合があります。

レンズシフトの調整の範囲

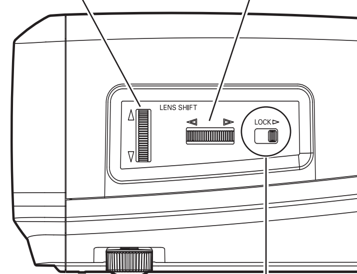




LP-Z5を後ろから見た図。
○の部分がレンズの位置（およそ中央）を示しています。

※ 右または左へ最大にレンズシフトしたとき、上下へは最大までレンズシフトすることはできません。また、上または下へ最大にレンズシフトしたとき、左右へは最大までレンズシフトすることはできません。

レンズシフトロック

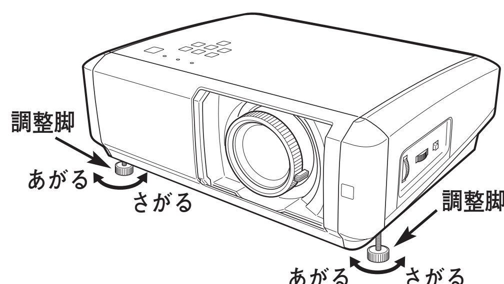


レンズシフトを合わせたら、[レンズシフトロック] で固定します。（レバーを右に移動させます）

※ 工場出荷時、[レンズシフトロック] は固定されています。ご使用になるときに、レバーを左に移動させ、解除してください。
※ 持ち運ぶときは、[レンズシフトロック] を固定してください。

投映画面の高さと傾きを調整する

本体前方を持ち上げて、手で調整脚をまわします。最大約7.7度まで上がります。





左右方向の傾きは±20度以内に

左右の傾きが ±20度以内になるように投映してください。傾きが大きいと、ランプの故障の原因となります。

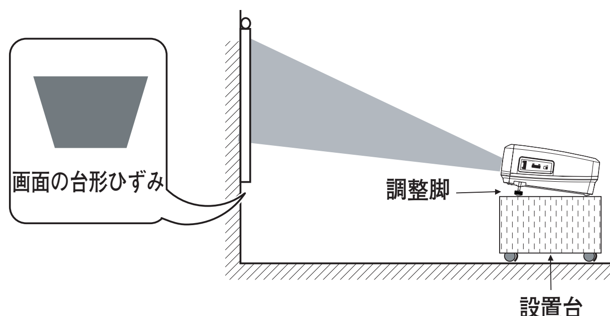
画面位置調整のヒント

画面の上下位置調整は、はじめにレンズシフトで行ない、そのあと調整脚で高さの調整を行なってください。調整脚のみで調整を行なうと画面に台形のひずみが生じます。

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。☞27ページ



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

投映機器を接続する（例）

VIDEO / S-VIDEO へ接続する

接続に使用するケーブル ＊は市販のものをお使いください。

- ビデオ ケーブル（1x ピンジャック）＊
- Sビデオ ケーブル（ミニDIN 4ピン）＊

ビデオ
ゲーム機
コンポジット映像出力 へ
S映像出力 へ
ゲーム機器 へ ❖
ビデオケーブル＊(1x ピンジャック)
Sビデオケーブル＊
❖
VIDEO へ
S-VIDEO へ
S-VIDEO
HDMI 1 HDMI 2 COMPUTER
VIDEO
Y－Pb/Cb－Pr/Cr COMPONENT 1
(D4-VIDEO) COMPONENT

COMPONENT 1＊ へ接続する

接続に使用するケーブル ★は別売品です。別売品については66ページを参照ください。

- コンポーネント ケーブル★

コンポーネント映像出力機器（DVDプレーヤやハイビジョン受信機等）
ゲーム機
コンポーネント映像出力 へ
ゲーム機器 へ ❖
コンポーネント★ケーブル(3x ピンジャック)
❖
COMPONENT 1 へ
HDMI 1 HDMI 2 COMPUTER
VIDEO
Y－Pb/Cb－Pr/Cr COMPONENT 1
(D4-VIDEO) COMPONENT

ご注意とお知らせ

お客さまがご使用になるハイビジョン映像機器と、＊の端子との接続において、まれに画像に横線ノイズが発生することがあります。
このばあい、38ページの「トラッキング」で調整をしてください。（調整値は「0から31」まで。工場出荷時は「10」に設定されています）

❖ ゲーム機を接続するには･･･

ゲーム機を接続するには、専用ケーブルなどが必要です。
詳しくはゲーム機の発売元にお問い合わせください。

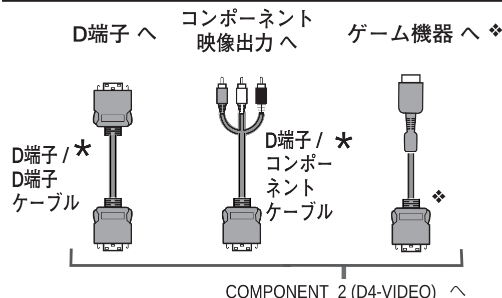
接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

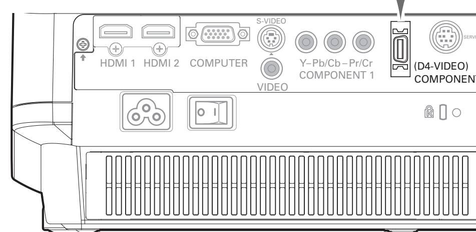
COMPONENT 2（D4-VIDEO）❈ へ接続する

接続に使用するケーブル　＊は別売品です。別売品については66ページを参照ください。

• D端子/D端子ケーブル ＊
• D端子/コンポーネント ケーブル ＊







ご注意とお知らせ

お客さまがご使用になるハイビジョン映像機器と、❈ の端子との接続において、まれに画像に横線ノイズが発生することがあります。
このばあい、38ページの「トラッキング」で調整をしてください。（調整値は「0から31」まで。工場出荷時は「10」に設定されています）

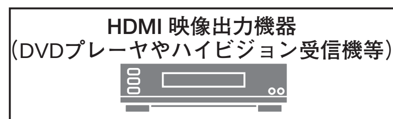
❖ **ゲーム機を接続するには･･･**

ゲーム機を接続するには、専用ケーブルなどが必要です。
詳しくはゲーム機の発売元にお問い合わせください。

HDMI へ接続する

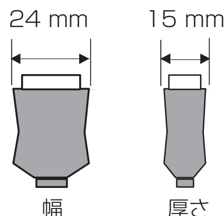
接続に使用するケーブル　＊は別売品です。別売品については66ページを参照ください。

• HDMI端子ケーブル ＊

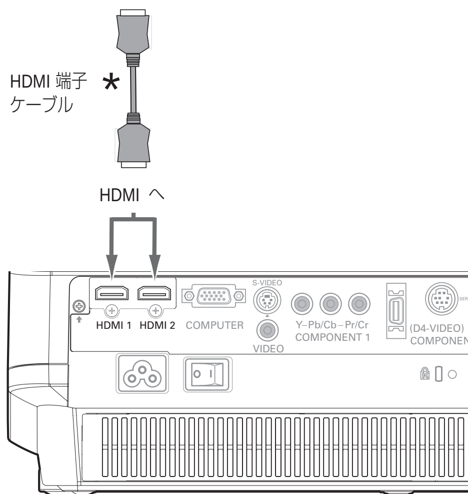



HDMIケーブルについて

HDMI 1とHDMI 2の端子にケーブルを同時につなぐときは、下図の幅・厚さ以下のケーブルをご使用ください。




接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

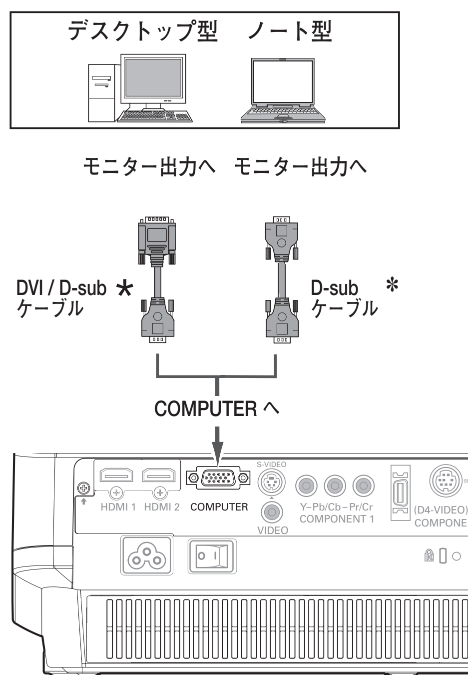


COMPUTER へ接続する

接続に使用するケーブル

★ は別売品です。別売品については66ページを参照ください。
✻ は市販のものをお使いください。

• コンピュータ接続ケーブル
（DVI / D-sub ケーブル ★ 、D-sub ケーブル✻ ）





接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

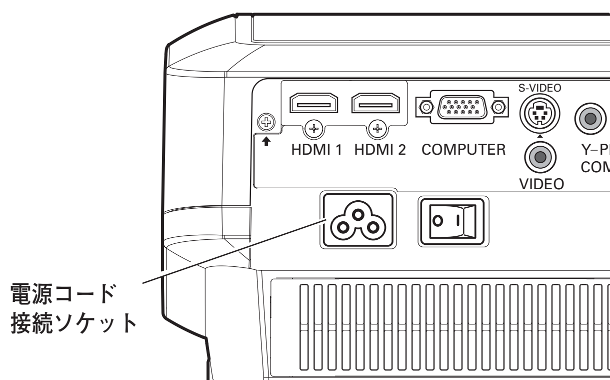
※ コンピュータの画像を投映するときは、コンピュータが外部出力に切り換わっているか確認してください。出力の切換はコンピュータの取扱説明書を確認してください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

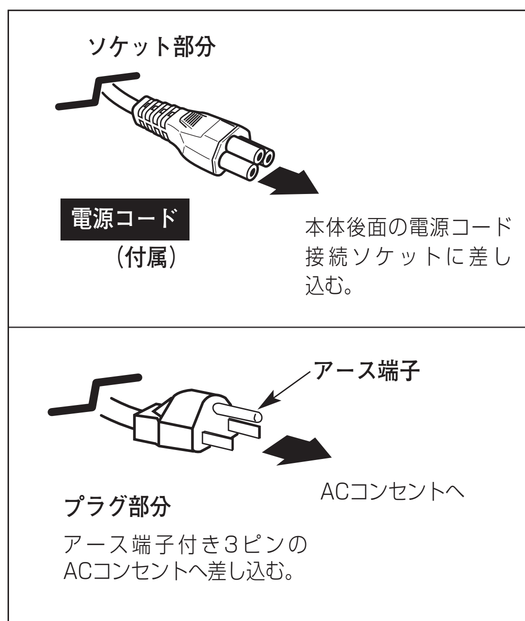
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、21～23ページを参照してビデオやコンピュータ機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンのACコンセントに差し込みます。





電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

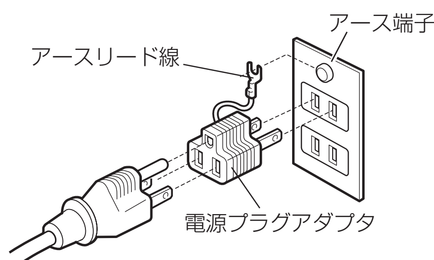
ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、操作パネルやリモコンの［ON/STAND-BY］ボタンで電源を切っても約0.5Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグをACコンセントから抜いてください。

電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き3ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが2ピン専用（アース端子がない）の場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接続してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線をはずしてください。

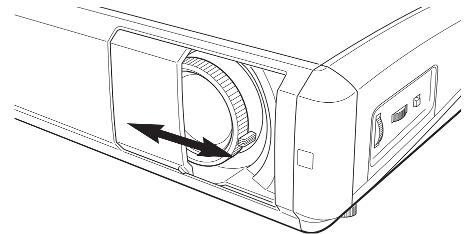


電源を入れる

電源コードをつなぐ前に 21～23 ページを参照してビデオ機器、コンピュータを接続してください。

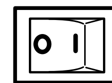
1 電源コードをACコンセントに接続します。☞前ページ
本機の後面にある主電源スイッチを入れます。
［POWER］インジケータが赤く点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押して電源を入れます。
［電動シャッター］が開きます。
約20秒間のオープニング画面とそのカウントダウンが終わると画像の投映が始まります。
スタート時、「入力モード」(☞31ページ) の表示が約4秒間出ます。
※ 電動シャッターが完全に開いてから、ランプの点灯が始まります。
※ 「セッティング」メニューで、
・「オンスクリーン表示：オン」(☞46ページ)、「ロゴ：オフ」(☞46ページ) に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
・「オンスクリーン表示：カウントオフ・オフ」(☞46ページ) に設定しているときは、「ロゴ」(☞46ページ) の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

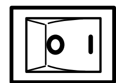


※ 出荷時、シャッターをテープで留めています。テープをはがしてからご使用ください。

主電源スイッチ



電源オフ

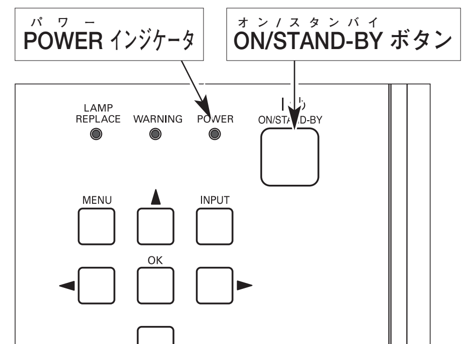


電源オン

※ 主電源スイッチは本機後面にあります。



入力モードの表示



電動シャッターが途中で止まったら！？

［POWER］インジケータがオレンジ色に点滅します。シャッターのレールに障害物がないか確認してみてください。問題がなければ、再度電源を入れることができます。［ON/STAND-BY］ボタンを押してください。☞61ページ

ご注意

電動シャッターに、手や異物がふれないようにしてください。
万一、手や異物によりシャッターが閉じなかったときは、安全のためにシャッターは途中で止まりますが、けがや故障の原因となりますので、シャッターとレンズの間に指や異物を入れたりしないでください。とくにお子さまにはご注意ください。



電源を切った後、約60秒間は電源が入りません

電源を切った後、約60秒間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は主電源スイッチを切ったり、電源コードを抜かないでください。60秒経ち、［POWER］インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

電源を切る

1 リモコンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。＊

2 表示が出ている間に再度［ON/STAND-BY］ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。
電源が切れると［POWER］インジケータが緑の点灯から赤の点滅にかわり、ランプの冷却を始めます。

＊ セッティングで「電源オフ確認」機能を「オフ」に設定しているときは表示が出ません。☞46ページ



※ 表示は約4秒間出ます。

電源を切った後、約60秒間は電源が入りません

電源を切った後約60秒間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。約60秒経ち［POWER］インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。また、短時間内で頻繁に電源の入・切を繰り返すことも、ランプの寿命を縮める原因となります。電源プラグを抜くときは、［ON/STAND-BY］ボタンで電源を切り、約60秒経過後、［POWER］インジケータが赤く点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

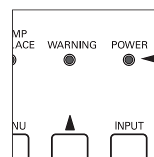
電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。
工場出荷時は、パワーマネージメント機能は「オン」に設定されています。☞47ページ



ランプ消灯までの時間



パワーマネージメントモードになると、［POWER］インジケータが緑の点滅を始めます。

動作について

1）プロジェクターからの入力信号が中断し、30秒以上プロジェクターが操作されないと、画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、タイマーが5分からカウントダウンを始めます。
2）5分経過するとランプが消灯し、ファンが回転してランプの冷却を行ないます。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作は出来ません。
3）ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑の点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

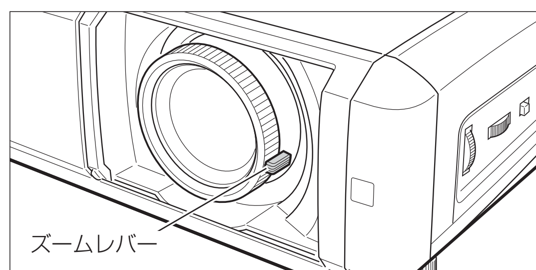
プロジェクターを24時間以上連続して使用する場合は、24時間に一度電源を切り1時間休ませてください。
休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

投映画面を調整する

ズームとフォーカス

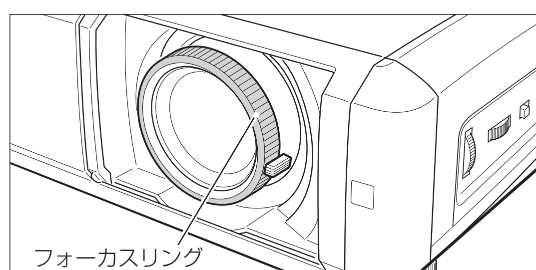
ズーム

［ズームレバー］を回して、画面の大きさを調整をします。



フォーカス

［フォーカスリング］を回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

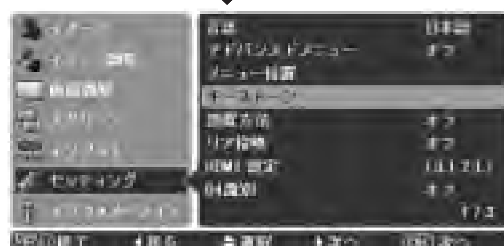
オンスクリーンメニューで操作するとき

1 ［MENU］ボタンを押してメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「セッティング」メニューを選択します。
［ポイント］ボタン右、または［OK］ボタンを押して、サブメニューに入ります。

2 ［ポイント］ボタンの上下で「キーストーン」の項目を選択し［OK］ボタン、または［ポイント］ボタン右を押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示（＊）が現われます。

3 表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で、画面の台形ひずみを補正します。
［ポイント］ボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。

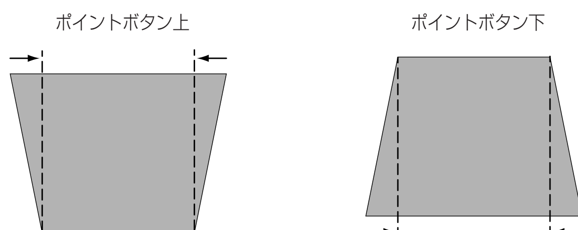






※ 表示は約4秒間出ます。
※ 補正された方向の矢印はオレンジ色で表示されます。（無補正のときは白色で表示されます。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
※「キーストーン」表示が現れているあいだに［RESET］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

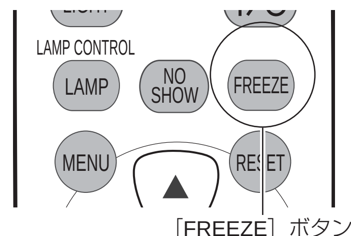
※ キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。したがって、画面の補正はレンズシフトで先に調整し、レンズシフトで調整しても補正できないときにキーストーン機能で補正することをおすすめします。
※ レンズシフト機能を合わせて使用すると、台形ひずみが残る場合があります。



画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※ ［FREEZE］ボタンは操作パネルにはありません。



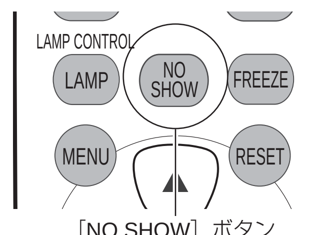
［FREEZE］ボタン

 こんなときに便利です
プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと、「ブランク」の表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※ ［NO SHOW］ボタンは操作パネルにはありません。



［NO SHOW］ボタン



※ 表示は約4秒間出ます。

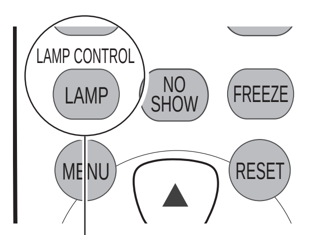
ランプモードを切り替える (LAMP)

リモコンの［LAMP (LAMP CONTROL)］ボタンを押すと記憶しているランプモードが画面に表示され、ランプモードを変えることができます。☞35ページ
［LAMP (LAMP CONTROL)］ボタンを押すたびに、



の順に表示が切り換わります。

※ セッティングメニューで「オンスクリーン表示：オフ」に設定しているときは表示されません。
※ ［LAMP (LAMP CONTROL)］ボタンは操作パネルにはありません。



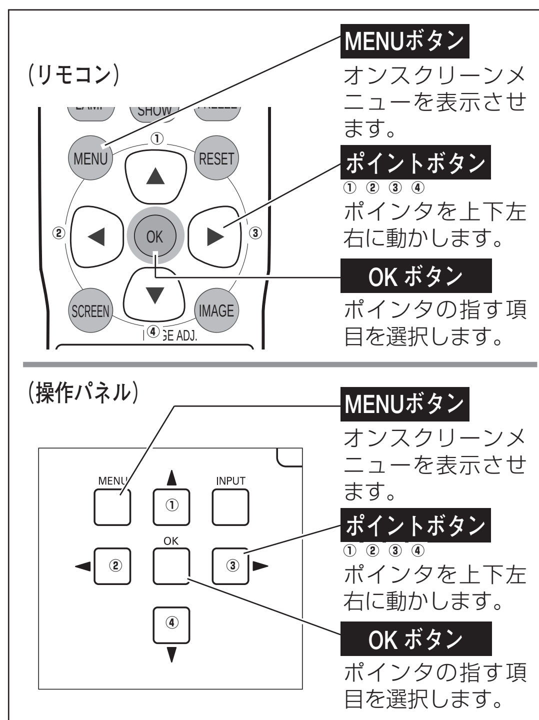
［LAMP (LAMP CONTROL)］ボタン

- 明るい表示・・・・・・・・・ブライトモード
- 明るい表示に「A1」・・・・リアクトイメージモード 1
- 明るい表示に「A2」・・・・リアクトイメージモード 2
- 上部がグレーの表示・・・・シアターブラックモード

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。



① ポインタの動かしかた

ポインタは、［ポイント］ボタンで上下左右に動かします。［ポイント］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、［OK］ボタンを押します。［OK］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 リモコンまたは操作パネルの［ MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューが表示されます。（右図参照）
メニューには選択できる項目が表示されます。

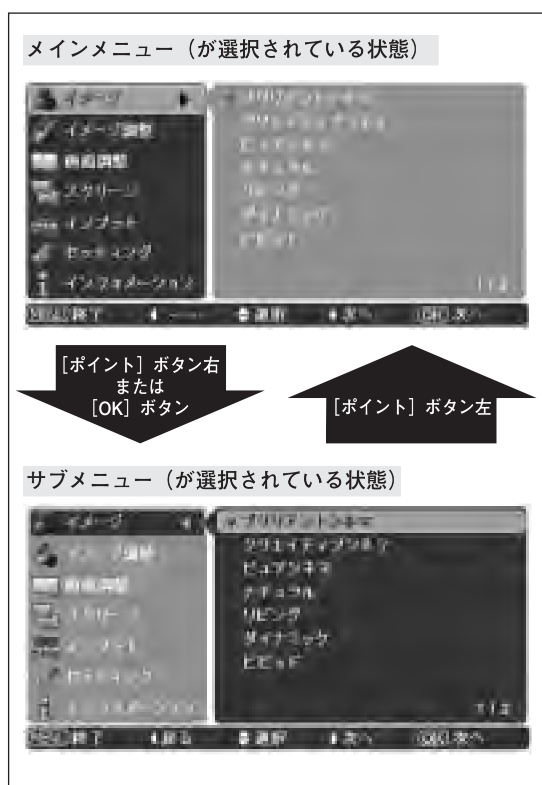
メニューを選択する

2 ［ポイント］ボタンの上下で選択したい項目に移動させます。表示されているメニューの右側に、選択した項目の詳細なメニュー（サブメニュー）が表示されます。
※ 選択されたメニューは背景色が変わります。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

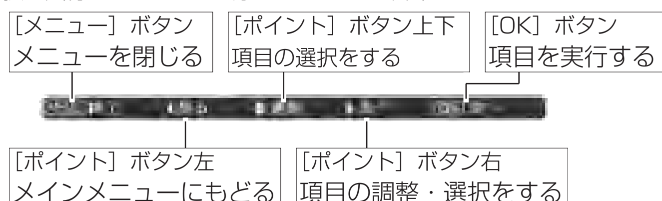
3 ［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンでサブメニュー内に入り、調整する項目を［ポイント］ボタン上下で選択します。

4 上下左右の［ポイント］ボタンや［OK］ボタンで、調整や切換を行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明の項目を参照してください。

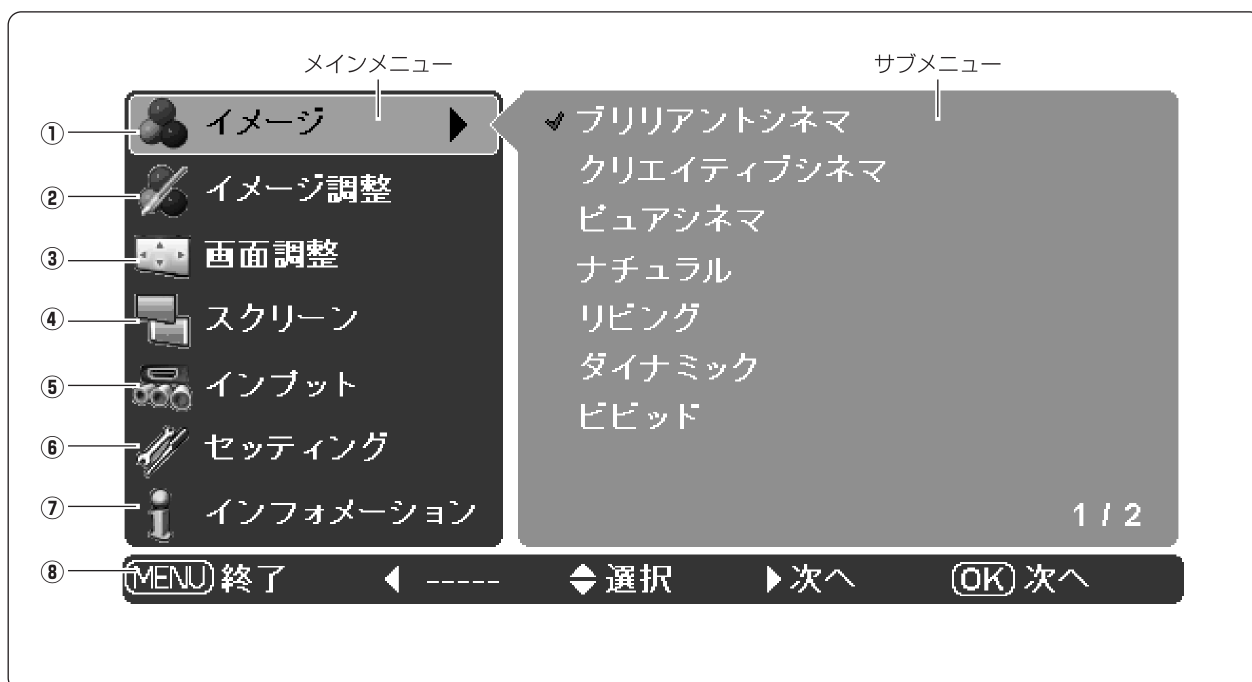


 ガイド＊ について

選択・実行するボタンを表示しています。下図はサブメニューのガイド



メニュー一覧



① **イメージ** イメージモードの選択　☞32ページ	ブリリアントシネマ・クリエイティブシネマ・ピュアシネマ・ナチュラル・リビング・ダイナミック・ビビッド・ユーザーイメージ1～4
② **イメージ調整** 投映中の映像の調整　☞33～37ページ	明るさ・コントラスト・色の濃さ・色合い・色温度・赤・緑・青・画質・ランプコントロール・ガンマ補正・プログレッシブ・レンズアイリス・アドバンストメニュー・リセット・メモリー
③ **画面調整** 投映中の画面の詳細設定　☞38ページ	オーバースキャン・水平位置・垂直位置・自動調整・トラッキング・総ドット数
④ **スクリーン** 表示モードの選択　☞39～41ページ	フル・フルスルー・ズーム・字幕イン・ノーマル・ノーマルスルー・ピッタリワイド1・ピッタリワイド2
⑤ **インプット** 入力信号の選択　☞31ページ	Video・S-video・Component 1・Component 2 (D4-video)・HDMI 1・HDMI 2・Computer
⑥ **セッティング** 各種の設定　☞43～50ページ	言語・アドバンストメニュー・メニュー位置・キーストーン・設置方法・リア投映・HDMI 設定・D4識別・バックグラウンド・オンスクリーン表示・ロゴ・電源オフ確認・キャプチャー・パワーマネージメント・リモコンコード・シャッターデモ・クリーニング・パネル調整・高地設定・ランプカウンターリセット・初期設定
⑦ **インフォメーション** 投映中の信号の状況と、ランプの使用時間・モードを表示　☞42ページ	信号・水平周波数・垂直周波数・ランプ使用時間・イメージ・スクリーン・インプット・ランプモード
⑧ **ガイド** 操作するボタンを表示	

入力を選択する

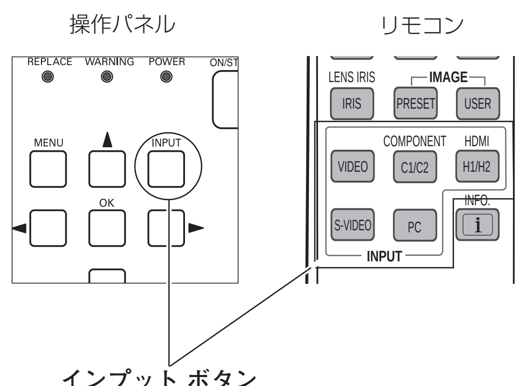
[INPUT] ボタンで入力を選択する

操作パネルの［INPUT］ボタンまたはリモコンの、［VIDEO、S-VIDEO、C1/C2(COMPONENT)＊、H1/H2(HDMI)＊、PC］ボタンのいずれかを押して選択します。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、「インプット」メニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）

＊ ボタンを押すたびにそれぞれ（C1またはC2など）に切り替わります。

入力切換 / INPUT ボタン



入力選択メニューで入力を選択する

1 リモコンまたは操作パネルの［MENU］ボタンを押して、メインメニューを出します。［ポイント］ボタンの上下で「インプット」メニューを選択します。

2 ［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンでサブメニュー内に入り、［ポイント］ボタンの上下でポインタを入力信号の種類に合わせ、［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右で選んでください。

※「Video」または「S-video」を選択したとき、［OK］ボタンを押したときは、あらかじめ設定されているカラーシステム（工場出荷時は「Auto」）が選択されます。［ポイント］ボタン右を押すと、カラーシステム方式の一覧（＊）が表示され、カラーシスムをマニュアルで選択することができます。（右図＊ は「Video」選択時の表示）

入力選択メニュー



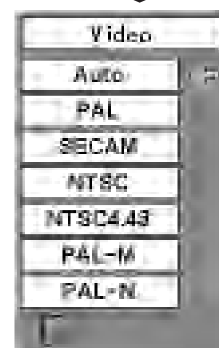
［ポイント］ボタン右
または
［OK］ボタン



［ポイント］ボタン右
または
［OK］ボタン

「Video / S-video」で
［ポイント］ボタン右
のとき

＊



Video

一般のビデオなどからの映像信号（コンポジット映像信号）を入力するときに選択します。

S-video

S映像信号（セパレートYC信号）を入力するときに選択します。

Componet 1

DVDプレーヤやハイビジョン受信機、ゲーム機などを接続します。

Componet 2 (D4-video)

DVDプレーヤやハイビジョン受信機、ゲーム機などで、D端子出力のある機器からの信号を入力します。またビデオ機器からのコンポーネント信号も入力することができます。

HDMI 1 / HDMI 2

DVDプレーヤなど、HDMI端子出力のある機器からの信号を入力するときに選択します。

※ HDMI1からHDMI2への切り替え、または、HDMI2からHDMI1への切り替え時は、一旦、著作権保護のデジタル認証が途切れます。そのため、接続される再生機器によっては、再生機器のHDMIからの映像出力が停止される場合があります。

Computer

コンピュータからのRGB信号を入力するときに選択します。

映 す

イメージの調整

[IMAGE] ボタンでイメージモードを選択する

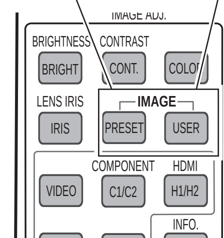
リモコンの［PRESET］、［USER］ボタンで 切り換えます。

PRESET ・・・プロジェクターにあらかじめ登録されているイメージモードを選択するときに使います。

USER ・・・イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。☞33～36ページ

IMAGE ボタン

PRESET ボタン　　USER ボタン



クリエイティブシネマ

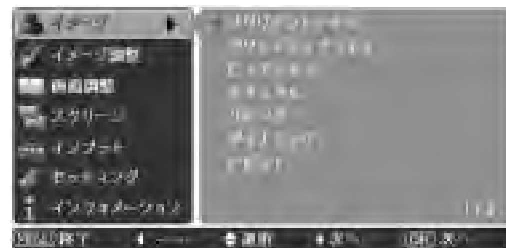
※表示は約4秒間出ます。
※ボタンを押すごとに切り替わります。

「イメージ」メニューでイメージモードを選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「イメージ」を選択します。

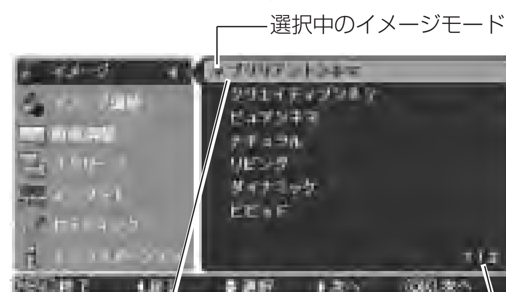
2 ［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンでサブメニュー内に入り、［ポイント］ボタンの上下でお好みのイメージモードを選択し、［OK］ボタンで選びます。

「イメージ」メニュー



［ポイント］ボタン右 または ［OK］ボタン

選択中のイメージモード



お好みのイメージモードの項目を選択し、［OK］ ボタンを押します。



＊ 前後にページがあることを示しています。
一番上または下の項目から、さらに上または下に、ポインタを移動させると、自動的に前ページまたは次ページに移ります。

ブリリアントシネマ

比較的明るいリビングなどで、映画を楽しむときに選択します。

クリエイティブシネマ

暗い部屋で、コントラスト感や立体感を重視した、映画鑑賞画質に設定します。

ピュアシネマ

暗い部屋で誇張を抑え、しっとりと落ち着いた、映画鑑賞画質に設定します。

ナチュラル

暗い部屋で、投映する映像の画質をそのまま忠実に再現します。

リビング

やや明るい部屋で、ビデオカメラで撮影した映像や、TV番組を観るときに、クリアでコントラスト感のある画質に設定します。

ダイナミック

明るい部屋で、メリハリの効いた画質を楽しむときに選択します。

ビビッド

コントラスト感を最大限に重視した画質を楽しむときに、選択します。

ユーザーイメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。☞33～36ページ

※ モードを切り換えているときに、モータ音やシャッター音がすることがありますが、モードに対応するための動作で、故障ではありません。

マニュアルでイメージ調整を行なう

オンスクリーンメニューで操作するとき

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンでサブメニューに入ります。

3 ［ポイント］ボタンの上下で調整したい項目に合わせます。［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンで、調整したい項目の詳細メニュー（＊）に入ります。［ポイント］ボタンの左右で値を調整します。

※ 詳細メニュー表示で［ポイント］ボタンの上下を押すと、調整したい項目を順送りすることができます。

4 メモリー　※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［ポイント］ボタン右、または［OK］ボタンを押すと「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［OK］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し、［OK］ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、［OK］ボタンを押すと「イメージ調整登録」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に [アイコン] をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［OK］ボタンを押すと「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［OK］ボタンを押すと、キャンセル（リセット）を中止することができます。

自動的にサブメニューにもどります。

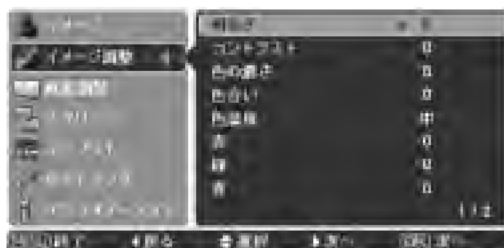
戻る

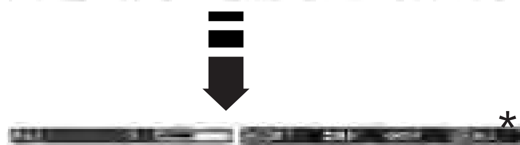
メニューを終了します。

※ この図のときリモコンの［RESET］ボタンを押すと、表示されている値が調整する前の値に戻ります。（イメージ調整メニューの全項目）

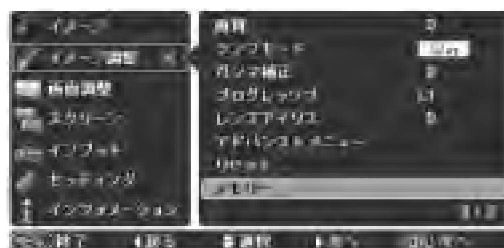


※「メモリー」は次ページにあります。［ポイント］ボタン下で一番下の項目からさらにポインタを移動させると、自動的に次ページへ移ります。





「メモリー」



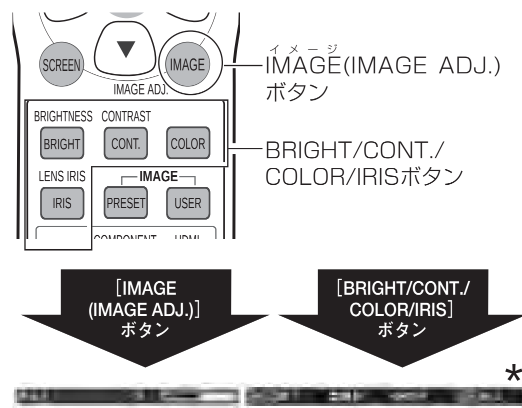


※ リモコンの［IMAGE (IMAGE ADJ.)］ボタンから、操作することもできます。☞次ページ

「項目」は次ページ

リモコンのボタンで操作するとき

リモコンの［IMAGE (IMAGE ADJ.)］ボタンを押します。
「イメージ調整メニュー」表示が現われます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの左右で調整します。
［ポイント］ボタン下を押すと次の調整メニューが表示され、［ポイント］ボタン上を押すと一つ前の項目に戻ります。



「明るさ・コントラスト・色の濃さ・レンズアイリス」の調整はリモコンのボタンですぐに呼び出せます。

リモコンの［BRIGHT/CONT./COLOR/IRIS］ボタンを押すと、それぞれの調整メニュー（＊）が表示されます。
メニューを表示させて、「イメージ調整」を選択して、という操作手順を省くことができます。

［IMAGE (IMAGE ADJ.)］ボタン　［BRIGHT/CONT./COLOR/IRIS］ボタン

＊

※ 前回最後に選択した項目が表示されます。

項　目　［ポイント］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右で選択項目のみが表示されます。



後にページがあることを示しています。［ポイント］ボタン下でポインタを一番下の項目からさらに下へ移動させると、自動的に次ページへ移ります。





［ポイント］ボタンの左右で値を調整します。
［ポイント］ボタンの上下で前後の項目に移動します。
「アドバンストメニュー」は「アドバンストメニュー」内の小項目が順に表示されますが、「カラーマネージメント」は表示されません。「カラーマネージメント」を調整するときは、「サブメニュー」から選択してください。

※ （上記2つの図ともに）特定の項目を選択しているときに、［RESET］ボタンを押すと、選択されている項目の値が調整する前の値に戻ります。
この図の場合「明るさ」の値だけが調整する前の値に戻ることになります。

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（-31〜+31）

コントラスト

◀ うすくなる　▶ こくなる（-31〜+31）

色の濃さ

◀ うすくなる　▶ こくなる（-31〜+31）

色合い

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる（-31〜+31）

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

色温度

◀ 低3へ　▶ 高へ（低3ー低2ー低1ー中ー高）

※ 低3（赤みがかる）〜高（青みがかる）
※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※この項目の調整を「RESET」ボタンで調整前に戻すと、「ホワイトバランス」（赤/緑/青のすべて）の調整値が、調整前の値に戻ります。
※「ホワイトバランス」（赤/緑/青のどれか1つでも）の調整をすると「ユーザー」と表示されます。

ホワイトバランス（赤/緑/青）

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色-31〜+31）

画　質

◀ やわらかい　▶ くっきり（-7〜+7）

ランプコントロール

「ブライトモード、リアクトイメージモード1/2、シアターブラックモード」の選択ができます。

- 明るい表示・・・・・・・・・ブライトモード
- 明るい表示に「A1」・・・・リアクトイメージモード 1
- 明るい表示に「A2」・・・・リアクトイメージモード 2
- 上部がグレーの表示・・・・シアターブラックモード

※［ポイント］ボタン右で ➔ ➔ ➔ の順に表示が切り換わります。

※**リアクトイメージモード 1/2**：
入力信号に応じて最適な明るさになるように調光回路が働いて、ランプの明るさを自動的に調整します。
「2」は「1」よりも明るさの調整は暗くなりますが、静音モードで動作します。

※ **シアターブラックモード**：
映画を視聴するのに適したモードで、このモードにすると、画面の明るさを押さえ、プロジェクターが静音モードで動作します。また、ランプが低消費電力モードとなります。

※リモコンの［LAMP CONTROL］ボタンで、直接ランプモードを切り替えることができます。☞28ページ

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(-7〜+7)

プログレッシブ

オフ・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1・・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。（動画のとき）

L2・・・・プログレッシブ スキャンを「ON」にします。（静止画のとき）

フィルム・・「3-2 プルダウン」「2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ 480p、575p、720p、1080pの信号が入力されているときは選択できません。
※ 1080iの信号が入力されているときは「フィルム」は選択できません。
※ 480iの信号が入力されているときに「フィルム」を選択し、その後、1080iの信号を入力すると「L1」に切り替わります。

レンズアイリス

レンズの絞り値を調整します。(-63〜0)

映

す

アドバンストメニュー

画質の、より詳細な設定ができます。

① [ポイント] ボタン右または [OK] ボタンで、アドバンストメニューが現れます。

② [ポイント] ボタンの上下で調整したい項目に合わせ、[ポイント] ボタン右または [OK] ボタンで調整したい項目の詳細メニューに入ります。

③ 値の調整は [ポイント] ボタンの左右で行ない、[OK] ボタンで「アドバンストメニュー」に戻ります。

※ セッティングの「アドバンストメニュー」が「オフ」のときは選択できません。☞43ページ

ランプアイリス ・・・・・ランプ絞りを調整します。「自動1/自動2/オープン/クローズ」に切り換えることができます。

黒伸張 ・・・・・・・・・・明るい映像の中の黒が引き締まる調整をします。「オフ」→「L1」→「L2」→「L3」の順で強調されます。

コントラストエンハンスメント・・・・明るい映像の中のコントラストを調節します。「オフ」→「L1」→「L2」→「L3」の順でコントラストが強調されます。

輪郭補正 ・・・・・・・・・「オフ」→「L1」→「L2」→「L3」の順で輪郭を際立たせることができます。

カラーマネージメント ・・投映している映像の色を、お好みの色に調整します。(☞設定方法は次ページ)

カラーリスト・・・・・・・カラーマネージメントのリストを選択します。
「リスト0」：補正なし
「リスト1」：記憶色全般の補正
「リスト2」：肌色中心の補正
「リスト3」：原色を鮮やかに明るく補正
「ユーザー」：「カラーマネージメント」で登録した内容を反映させる

※ 「ユーザー」は「カラーマネージメント」でリストが作成されたときに表示されます。
※ 「メモリー」で登録しないと保存されません。

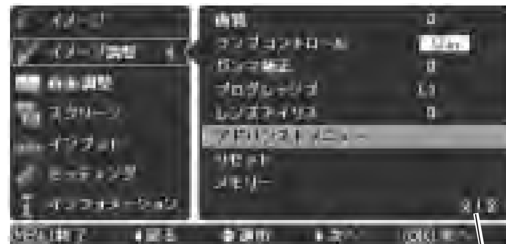
ダイナミックガンマ ・・ダイナミックガンマの補正をします。「オフ」→「自動1」→「自動2」の順で補正幅が強くなります。

ゲイン 赤/緑/青・・・・・「コントラスト」(☞34ページ)よりも詳細に「赤/緑/青」それぞれで調整することができます。(-15～+15)

オフセット 赤/緑/青・・・映像の中のくらい部分の「赤/緑/青」を調整することができます。(-15～+15)

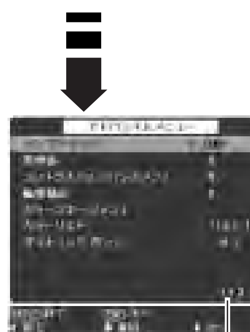
ガンマ 赤/緑/青・・・・・映像の中の中間領域部分の「赤/緑/青」を調整することができます。(-5～+5)

アドバンストメニュー



前にページがあることを示しています。[ポイント] ボタン上でポインタを一番上の項目からさらに上へ移動させると、自動的に前ページへ移ります。

※ 「アドバンストメニュー」は上図(またはメインメニュー)の状態で [RESET] ボタンを押すと、下図の項目すべてが調整する前の値に戻ります。



※ この図のとき、[RESET] ボタンを押すと、選択されている項目の値が調整する前の値に戻ります。



前後にページがあることを示しています。項目の一番上または下から、さらに上または下に、ポインタを移動させると、自動的に前ページまたは次ページに移ります。

カラーマネージメントの設定方法

投映している画像の色を、お好みの色に調整します。

1「カラーマネージメント」を選択し、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、画像が静止して「カラーマネージメント」リストが表示されます。

※ 画面表示モードが「ピッタリワイド 1/2」のときは、一時的に「フル」表示になります。
※ キーストーン調整をしているときは、一時的にキーストーンが解除されます。

2 [ポイント] ボタンの上下左右で希望する項目を選択し [OK] ボタンを押します。

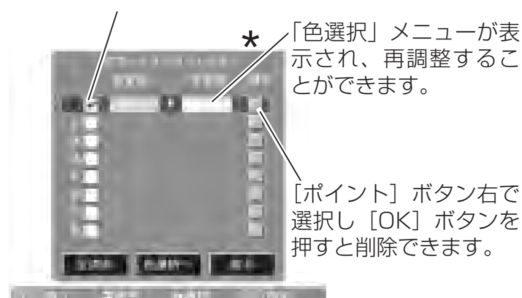
全消去・・・・・・保存されたすべてのリストが削除されます。[OK] ボタンを押すと、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[OK] ボタンを押します。

色選択へ・・・・調整を保存し、新たに無色のカーソルを表示され、調整を続けることができます。

戻る・・・・・・「カラーマネージメント」から抜けて、「アドバンストメニュー」まで戻ります。

リスト・・・・・・右図＊ で確認してください。

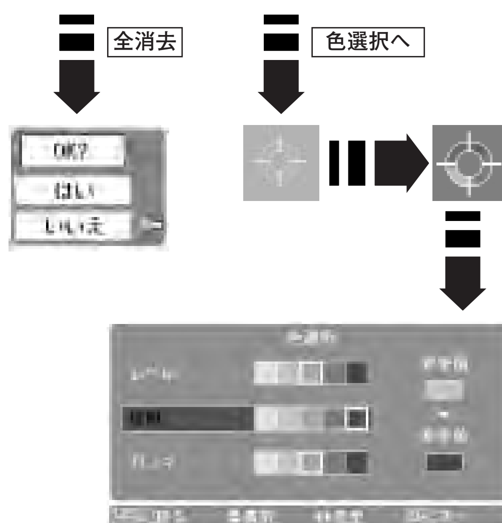
登録した内容で表示するか、しないかを選択することができます。([OK] ボタンでチェックマークを付けたり、はずしたりします)



＊「色選択」メニューが表示され、再調整することができます。

[ポイント] ボタン右で選択し [OK] ボタンを押すと削除できます。

※ 8件の保存ができます。
※ 8件全て登録したときは、「色選択へ」は選択できません。



3「*2*」で「色選択へ」を選択したときは、無色のカーソルが画面中央に表示されます。

4 [ポイント] ボタンの上下左右でカーソルを調整したい色の上に移動させ、[OK] ボタンを押すと、「色選択」メニューが現れます。

※ 色選択できない場合があります。(たとえば、白・黒・灰色など) その場合「!」が画面に表示されます。

※ [MENU] ボタンを押すと、「カラーマネージメントリスト」表示に戻ります。

5 [ポイント] ボタンの左右で、調整後に表示させたい色を選択し [OK] ボタンを押します。

※ 各項目へは [ポイント] ボタンの上下で移動します。
※ [MENU] ボタンを押すと、「*4*」に戻ります。

6「カラーマネージメント」リストが表示され、調整後の色がリスト上に追加されています。「*2*」の手順で希望する項目を選択します。

画面調整

投映中の画面の詳細を設定します。

手　順

1　［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で「画面調整」メニューに合わせます。

2　［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンでサブメニュー内に入り、調整したい項目を選択し［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押します。調整画面が出ます。

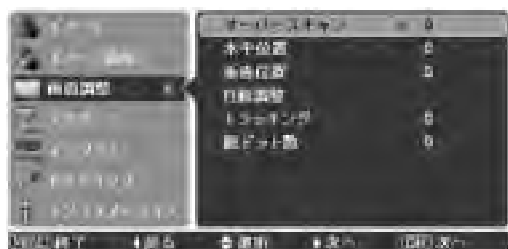
3　［ポイント］ボタンの左右で調整をします。

※ 調整した内容は電源を切っても有効です。

画面調整メニュー







項　目

オーバースキャン

投映されている映像の外側にある部分も見えるようにするときに調整します。（0〜+10）
※ コンピュータ入力時は、この項目は選択することができません。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。（最大：-100〜+100）
※ 入力信号によって調整できる範囲は異なります。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。（最大：-100〜+100）
※ 入力信号によって調整できる範囲は異なります。

自動調整

この項目を選択し［OK］ボタンを押すと、「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整します。
※ コンピュータ入力時以外はこの項目を選択することができません。
※ 調整中に他のボタンを押すと、調整を中止して、調整前の状態に戻ります。

トラッキング

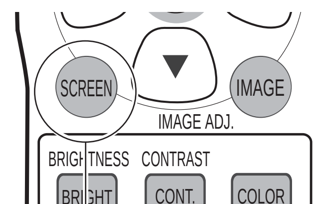
トラッキング（同期）がずれて画面のチラツキがあるときに調整します。（0〜+31）
※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。
※ 入力信号によっては、この項目を選択できないときがあります。

総ドット数

1水平期間の総ドット数を調整します。（最大：-100〜+100）
※ 入力信号によって調整できる範囲は異なります。
※ 入力信号によっては、この項目を選択できないときがあります。

表示モードを選択する

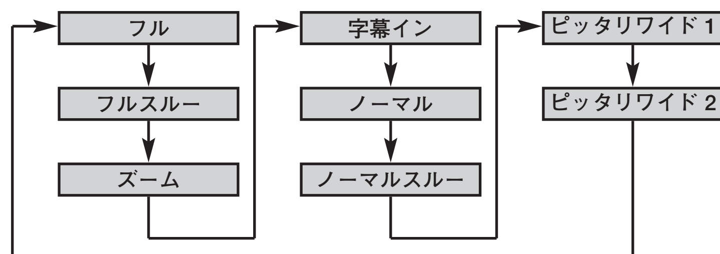
お好みにより、表示モードを8種類の中から選択できます。
リモコンの［SCREEN］ボタンまたは、メニューで選択できます。



［SCREEN］ボタン

リモコンで操作する

［SCREEN］ボタンを押すごとに表示モードが変わります。



メニューから選択する

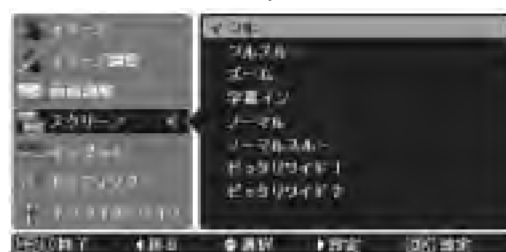
1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンでサブメニュー内に入り、［ポイント］ボタンの上下で画面サイズを選択し、［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右で選択します。

「スクリーン」メニュー

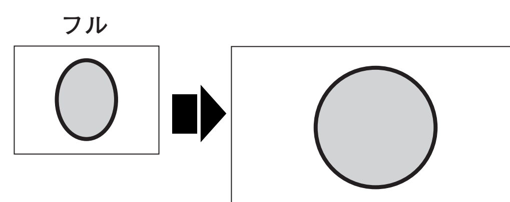


［ポイント］ボタン右
または
［OK］ボタン



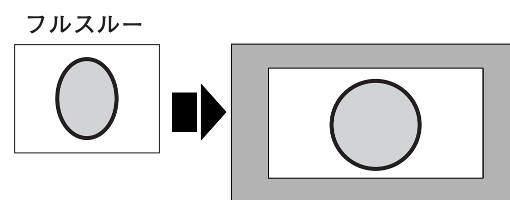
フル

アスペクト比4：3に圧縮された16：9の信号を、均等に左右に拡大し、もとの16：9のワイド画面にもどして投映します。



フルスルー

映像の左右方向のみ拡大して、入力映像を16：9のアスペクト比で中央に投映します。
※ 投映画面は小さいですが、高画質のまま映像を楽しむことができます。



ズーム

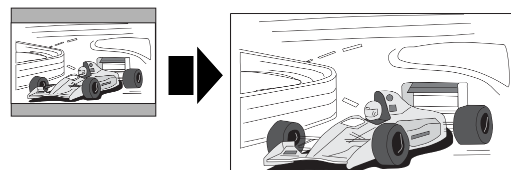
アスペクト比4：3（レターボックス）の入力信号が、横幅いっぱいになるように均等に拡大します。

※ 1080i、720p の信号を入力しているときは、アスペクト比16：9の中に4：3のレターボックスで表示された画面を拡大します。

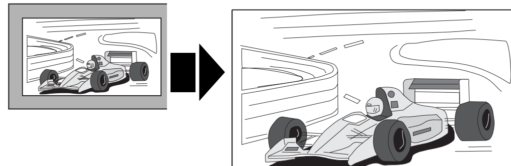
※ ［ポイント］ボタンの上下を押すと、「垂直調整」が表示され、上下方向で、画面の表示を調整することができます。表示の出ている間に［ポイント］ボタンの上下で調整してください。

※ 表示は約4秒間出ます。
※ 補正された方向の矢印はオレンジ色で表示されます。（無補正のときは白色で表示されます。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
※ 表示が現れているあいだに［RESET］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

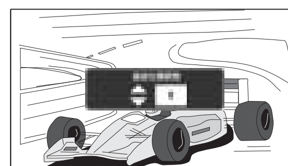
ズーム



入力信号が、1080i、720pのとき



垂直調整

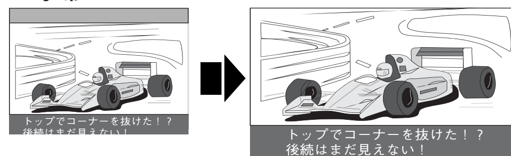


字幕イン

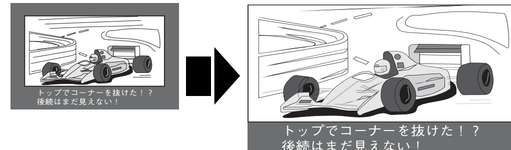
字幕入りの映像を、字幕の部分が欠けないように拡大して投映します。

※ ［ポイント］ボタンの上下を押すと、「垂直調整」が表示され、上下方向で、画面の表示を調整することができます。表示の出ている間に［ポイント］ボタンの上下で調整してください。
たとえば、字幕が切れているときに字幕が全部見えるように、［ポイントボタン］上で調整することができます。
※ 表示は約4秒間出ます。
※ 補正された方向の矢印はオレンジ色で表示されます。（無補正のときは白色で表示されます。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
※ 表示が現れているあいだに［RESET］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

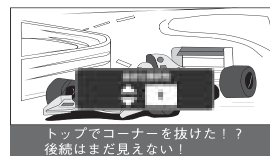
字幕イン



入力信号が、1080i、720pのとき



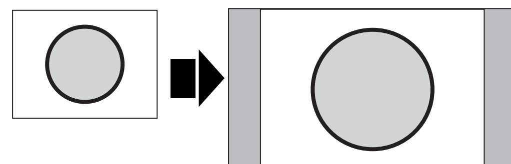
垂直調整



ノーマル

アスペクト比4：3の映像を上下いっぱいにそのまま投映します。

ノーマル

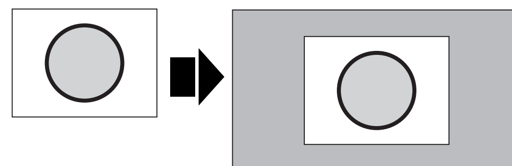


ノーマルスルー

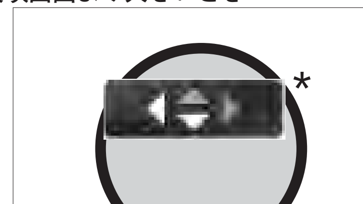
入力映像をそのまま投映します。
※ 投映画面は小さいですが、高画質のまま映像を楽しむことができます。

※ コンピュータ入力時に画像サイズが有効投映画面（1280x720）よりも大きいときは、画面の左上に「ノーマルスルー」の表示が現れ、[ポイント] ボタンの上下左右いずれかを押すと、画面中央に「＊」が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。
※ 表示は約4秒間出ます。
※ 補正された方向の矢印はオレンジ色で表示されます。（無補正のときは白色で表示されます。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
※ 表示が現れているあいだに［RESET］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

ノーマルスルー



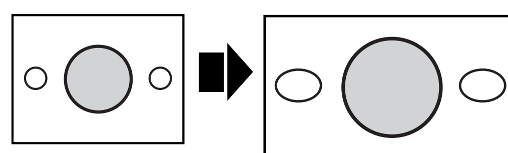
有効投映画面より大きいとき



ピッタリワイド 1

アスペクト比4：3 の映像を16:9にして投映します。
中心部はあまり変えずに左右を拡大し自然な映像になるように投映します。

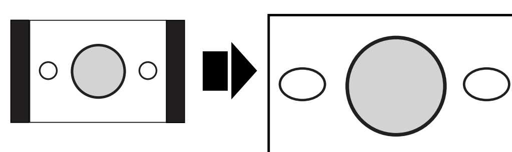
ピッタリワイド 1



ピッタリワイド 2

アスペクト比16:9の映像信号の中に4：3 の映像が入っているときに、その4：3の映像を16:9にして投映します。
中心部はあまり変えずに左右を拡大し自然な映像になるように投映します。

ピッタリワイド 2



D端子からの各入力信号は識別信号により、以下の画面モードで表示されます。

入力信号	アスペクト比	自動で識別して表示するモード	選択可能なモード
480i	16：9	フル	全モード可
	4：3 レターボックス	ズーム	
	4：3	ノーマル	
480p	16：9	フル	全モード可
	4：3 レターボックス	ズーム	
	4：3	ノーマル	
720p	16：9	フル	フル/ズーム/字幕イン ピッタリワイド2
1080i	16：9	フル	フル/ズーム/字幕イン ピッタリワイド2

投映中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投映中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

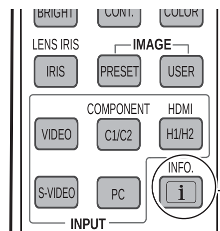
「インフォメーション」をみる

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下で［インフォメーション］を選択します。

2 サブメニューに、以下の内容が表示されます。
- ・投映中の信号の種類
- ・水平周波数
- ・垂直周波数
- ・ランプ使用時間
- ・イメージ
- ・スクリーン
- ・インプット
- ・ランプ状態



※ リモコンの［ i ］ボタンで直接選択、表示させることができます。



INFO.（インフォメーション）ボタン

信 号

投映中の信号の種類を表示します。

Video、S-video のとき
カラー方式を表示します。

COMPONENT 1 / 2 のとき
走査方式を表示します。

HDMI 1 / 2 のとき
プロジェクターが信号を識別し、該当する信号を表示します。

Computer のとき
解像度を表示します。
※ 判別できない信号が入力されたときは「不明」と表示します。

水平周波数

「KHz」で表示します。
※ 信号が無いときは「---」と表示します。

垂直周波数

「Hz」で表示します。
※ 信号が無いときは「---」と表示します。

ランプ使用時間

「●● H」で表示します。

イメージ

選択されている「イメージモード」を表示します。
※ 信号が無いときは「---」と表示します。

スクリーン

選択されている「表示モード」を表示します。
※ 信号が無いときは「---」と表示します。

インプット

選択されている「インプット」モードを表示します。

ランプ状態

選択されている「ランプモード」を表示します。

各種セッティング

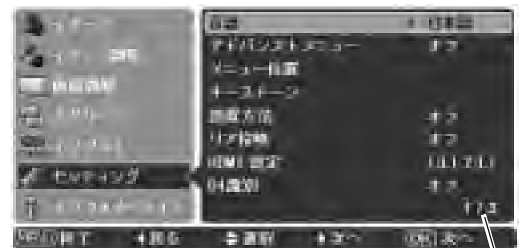
1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタン右または [OK] ボタンでサブメニュー内に入り、[ポイント] ボタンの上下で、設定する項目に合わせます。[OK] ボタンや「ポイント」ボタンの右で、選んだ項目の設定の切り換えを行ないます。

※ 項目によっては、詳細なメニューが出ます。



[ポイント] ボタン右
または
[OK] ボタン



[ポイント] ボタン右
または
[OK] ボタン

後にページがあることを示しています。[ポイント] ボタン下でポインタを一番下の項目からさらに下へ移動させると、自動的に次ページへ移ります。



[OK] ボタンで選択すると自動的にポインタが「 」に移ります。[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右をを押すと言語が切り替わり、「サブメニュー」に戻ります。

言　語

画面表示の言語を切り換える機能です。「英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語」の16か国語の中から選べます。

アドバンストメニュー

この機能を「オン」にすると「イメージ調整」の「アドバンストメニュー」の選択（☞36、37ページ）ができるようになります。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

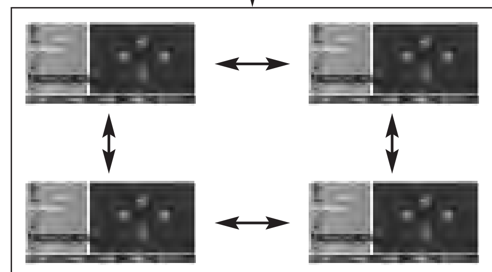
メニュー位置

メニューの表示される位置を調整する機能です。[ポイント] ボタンの上下・左右でお好みの位置に表示させることができます。

※ 4カ所に移動できます。

メニュー位置





4カ所に移動できます

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。

1 「キーストーン」を選択し、[ポイント] ボタン右または [OK] ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消え「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。

2 [ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。☞27ページ

※「キーストーン」表示が現れているあいだに、[RESET] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

設置方法

プロジェクターの設置方法を選択します。

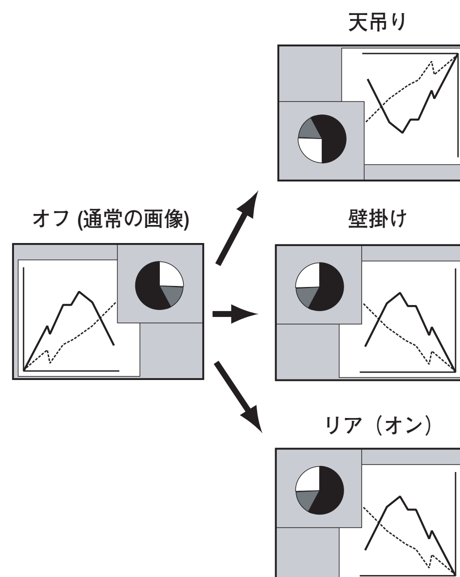
オフ ・・・・設置方法を解除します。

天吊り ・・・天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。画像の上下左右を反転して映します。

壁掛け ・・・壁面へ設置するときに設定します。画像の左右を反転して映します。

※ 吊り下げおよび壁掛け型の設置には、専用の金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※ 「天吊り、壁掛け」を選択すると「キーストーン」の補正が解除されます。

「設置方法」と「リア投映」



リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。
透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

HDMI 設定

［HDMI1、2］端子を使って、DVDプレーヤなどHDMI映像出力機器の信号を投映する場合、プロジェクターのHDMI入力を、DVDプレーヤなどHDMI映像出力機器の出力信号に合わせてください。HDMI映像出力機器の出力形式と、プロジェクターの入力信号形式が合っていないと、最良な映像が投映されない場合があります。



1 ［ポイント］ボタン上下で「HDMI 設定」に合わせます。

2 ［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンでHDMI映像出力機器の出力信号に合わせて、「L1」または「L2」に設定します。

L1 ・・・・HDMI映像出力機器の出力が「標準（NORMAL）」に設定されている場合。

L2 ・・・・HDMI映像出力機器の出力が「エンハンスト（ENHANCED）」に設定されている場合。

ボタンを押すごとに以下のように設定項目が表示されます。

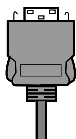
1：L1　2：L1　　※1：HDMI 1　2：HDMI 2
1：L2　2：L1
1：L1　2：L2
1：L2　2：L2

※ HDMI映像出力機器の出力設定の呼称は機器によって異なります。詳しくは、HDMI映像出力機器の取扱説明書をごらんください。
※ 映像の黒部がつぶれたり、または浮き上がったりするときは、「L1」または「L2」に切り換え、HDMI映像出力機器の出力形式を切り換えてみてください。

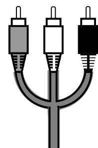
D4識別

D4端子に接続された信号を識別し、画面モードを制御する機能です。
この機能を「オン」にすると、D4端子にケーブルが接続されているとき、プロジェクターの電源を入れるとき、他の端子（Video/S-video/Component/HDMI/Computer）の接続よりD4端子への接続を優先的に選択します。

D端子



コンポーネント



オン ・・・D端子に入力されている信号の種類を識別します。

オフ ・・・しません。

D端子からの各入力信号は識別信号により、以下の画面モードで表示されます。

入力信号	アスペクト比	自動で識別して表示するモード	選択可能なモード
480i	16：9	フル	全モード可
	4：3 レターボックス	ズーム	
	4：3	ノーマル	
480p	16：9	フル	全モード可
	4：3 レターボックス	ズーム	
	4：3	ノーマル	
720p	16：9	フル	フル/ズーム/字幕イン ピッタリワイド2
1080i	16：9	フル	フル/ズーム/字幕イン ピッタリワイド2

D4識別「オン」はご使用のケーブルがD端子/D端子の ときに使います。

D4識別「オン」は接続ケーブルにD端子/D端子を使い、ビデオ機器側から出力される識別信号に応じてプロジェクターを制御するときに使用する設定です。接続ケーブルに、D端子/コンポーネントをご使用のときは、識別動作は行なわれません。設定を「オフ」にしてください。
※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ 接続については22ページをご参照ください。

バックグラウンド

信号のないときの背景画面を選択する機能です。
画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さないようにできます。

青 、 黒 ・・・背景画面を青、または黒に設定します。

ロゴ ・・・「ロゴ」（☞次ページ）で選択した画面を表示します。

※ 「ロゴ」で「オフ」に設定されているときは選択できません。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン ・・・すべての画面表示を出します。

※ ある程度投映画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

カウントオフ ・・・ランプ点灯後20秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投映します。

※ 投映画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オフ ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- メニュー表示 ☞30ページ
- 電源を切るときの、「もう1度押すと電源が切れます」の表示
- 「しばらくお待ち下さい」の表示
- 「カラーマネージメント」の操作画面 ☞37ページ
- 「パワーマネージメント」のタイマー表示 ☞26ページ
- 「キーストーン調整」の表示 ☞27ページ
- 「ノーマルスルー」を選択したときに有効投映画面より画面サイズが大きいとき表示される「　」☞41ページ
- 「ズーム」と「字幕イン」で画面位置を調整するとき表示される「　」☞40ページ

ロ　ゴ

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー ・・・「キャプチャー」機能で取り込んだ画像を表示します。
※ 取り込んだ画像が無いときは、選択できません。

初期設定 ・・・出荷時の内容が表示されます。

オフ ・・・・・ ロゴ表示を画面に出しません。
※ 「オンスクリーン表示（☞上記）」で「カウントオフ」または、「オフ」を選択しているとき以外は、カウントを画面右下に表示します（背面は黒い画面です）。

電源オフ確認

この機能を「オフ」にすると、電源を切るときに画面に「もう一度押すと電源が切れます」の表示を出さずに、[ON/STAND-BY]ボタンを一度押すだけで電源が切れるように設定します。
☞26ページ

キャプチャー

投映している画面を取り込んで、スタートアップロゴにすることができます。
取り込んだ画像をスタートアップロゴにするときは、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択してください。（前ページ「ロゴ」参照）

前後にページがあることを示しています。一番上または下の項目から、さらに上または下に、ポインタを移動させると、自動的に前ページまたは次ページに移ります。

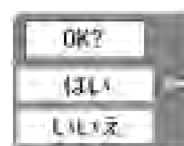


1 ［ポイント］ボタン上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと静止画になり、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

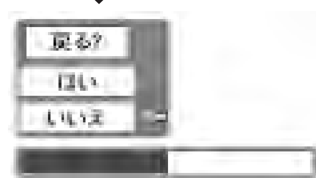
はい ・・・・画面の取り込みを始めます。

いいえ ・・・静止画を解除して、サブメニューの「キャプチャー」に戻ります。

［ポイント］ボタン右
または
［OK］ボタン



2 はい を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の はい * を選択し［OK］ボタンを押します。



※ このとき、リモコンの「◀ 」ボタンを押しても取り込みを中止できます。（サブメニューの「キャプチャー」に戻ります）

※ 「ユーザー」へ保存できるのは１画面のみです。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
※ 以下の信号のときに使えます。
ビデオ・・・・・・・ コンポジット、S-video、480p、575p、720p、480i、575i、1080i、1080p
コンピュータ ・・・ 1024 x 768 ドット以内

ご注意 *

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

パワーマネージメント

入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が5分30秒続くと、ランプを消灯する機能です。

オン ・・・無信号と無操作の状態が30秒続くと、画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、この後無信号と無操作が5分間続くとランプが消灯し、パワーマネージメントモードになります。

オフ ・・・パワーマネージメント機能を解除します。



ランプ消灯までの時間

（パワーマネージメント機能とそのはたらきについての詳しくは、26ページをごらんください。）
※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。
※ 「FREEZE」、「NO SHOW」、「クリーニング」、「パネル調整」が動作中のときは、この機能は作動しません。

リモコンコード

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作することができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2台目のプロジェクター用（拡張用）として「コード 2」に設定することができます。本機を2台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておくと、誤動作防止になります。

コード1 ・・・1台目のプロジェクター用に使用します。

コード2 ・・・2台目のプロジェクター用（拡張用）に使用します。

※ ［ポイント］ボタンの左右で「コード1」と「コード2」を切り換えます。

※ 本機（プロジェクター）を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。☞17ページ

シャッターデモ

［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンを押すと、投映した状態のまま「電動シャッター」が一度だけ開閉します。

※ 約2秒間閉じて、元の全開の状態に戻ります。
※ 1度動作させると、約5秒間はこの項目は選択できなくなります。

クリーニング

この機能と付属のブロアおよびノズルを使って、プロジェクター内部に入ったホコリを取りのぞきます。
詳しいクリーニングの方法は55ページを参照ください。

※ ［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押し「クリーニング」機能を選択すると、画面が一時的に消え（黒色）ファンの回転速度も速くなりますが、操作パネルまたはリモコンのボタン（どれでも）を押し、「クリーニング」機能を終了すると元に戻ります。

※ この機能で完全にほこりを取りのぞくことができないときもあります。その場合は、お買い上げの販売店または修理相談窓口にご依頼ください。

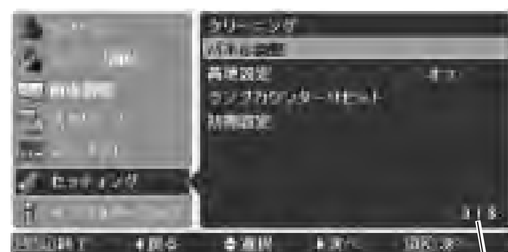


前にページがあることを示しています。［ポイント］ボタン上でポインタを一番上の項目からさらに上にへ移動させると、自動的に前ページへ移ります。

パネル調整

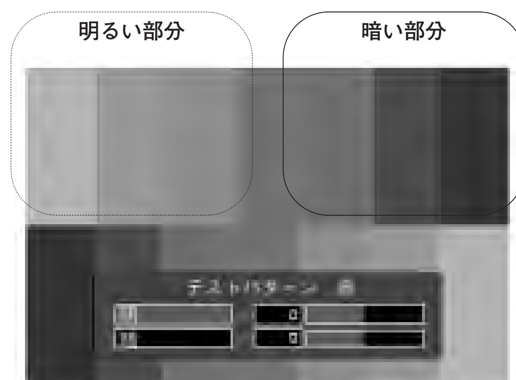
プロジェクターに使用している赤（R）/緑（G）/青（B）の液晶パネルの映像再生動作を調整し、より鮮明な映像再生を行なうための調整です。この調整が正しく調整されていないと、画面の縦方向に線が現れる場合があります。

この機能を使うときは、
・入力信号の種類は問いません。また入力信号がなくても（機器を接続していなくても）調整することができます。
・プロジェクターの電源を入れ、ランプを10分以上点灯させてから行なってください。
・やや暗い環境で行なうと、より正確に調整ができます。
※ この機能が作動しているときは「パワーマネージメント」（☞ 47ページ）は作動しません。
※ 全ての調整が行なえるわけではありません。



前にページがあることを示しています。［ポイント］ボタン上でポインタを一番上の項目からさらに上へ移動させると、自動的に前ページへ移ります。

［ポイント］ボタン右
または
［OK］ボタン



［ポイント］ボタンの上下で「テストパターン　赤」→「テストパターン　緑」→「テストパターン　青」→「チェックパターン」が順に表示されます。





調整方法

1 ［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押すと、「テストパターン　赤」の調整画面が現れます。調整は［ポイント］ボタンの左右で画面を見ながら行ないます。

2 縦線の目立つ部分から調整します。たとえば、明るい部分の縦線が目立つ場合は、まず「明」の調整をします。その後、暗い部分の縦線も改善されるように「暗」の調整をします。調整ができたら、同様に「テストパターン　緑」と「テストパターン　青」の調整を行ないます。

3 すべての調整ができたら、［ポイント］ボタンの上下で「チェックパターン」を表示させ、確認をします。

※ ［RESET、ポイント］ボタン以外のボタンを押すと、「パネル調整」を終了し、サブメニューに戻ります。
※ リモコンの［RESET］ボタンを押すと、調整した値が「0（初期値）」になります。

高地設定

海抜1200mくらいより高いところで使用するときに、この機能を「オン」にします。

オン ・・・高地設定にします。

オフ ・・・しません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）の点灯が消えます。



注意 ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。



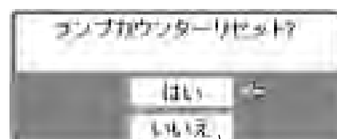
前にページがあることを示しています。［ポイント］ボタン上でポインタを一番上の項目からさらに上へ移動させると、自動的に前ページへ移ります。

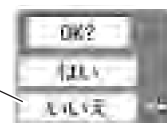
［ポイント］ボタン右
または
［OK］ボタン

1 ［ポイント］ボタン上下で「ランプカウンターリセット」に合わせ、［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンを押します。

2 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［OK］ボタンを押します。

3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［OK］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。





「いいえ」を選択したときは、サブメニューに戻ります。

初期設定

「ランプ使用時間」と「ユーザーロゴ」以外の設定を、工場出荷状態に戻します。

※ この設定は電源・主電源を切っても有効です。



ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

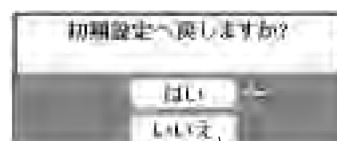


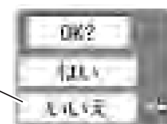
［ポイント］ボタン右
または
［OK］ボタン

1 ［ポイント］ボタン上下で「初期設定」にポインタを合わせ、［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押します。

2 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［OK］ボタンを押します。

3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［OK］ボタンを押します。
設定が工場出荷時に戻ります。





「いいえ」を選択したときは、サブメニューに戻ります。



ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータの点灯

［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。［LAMP REPLACE］インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで主電源「ON」（入）のときに点灯します。なお、［LAMP REPLACE］インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

※［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するまでの時間は、ご使用状況（ランプモードの状況）によって異なります。

ランプの交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

・交換ランプの品番： POA-LMP94 (サービス部品コード：610 323 5998)
・プロジェクターの品番： LP-Z5


注意　動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

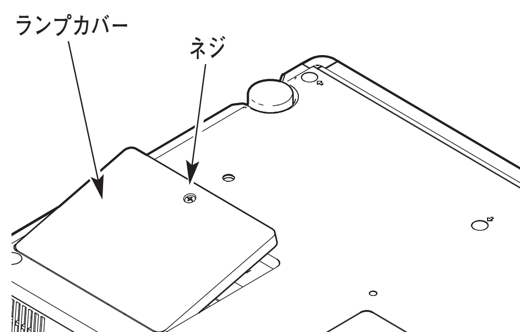
1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。

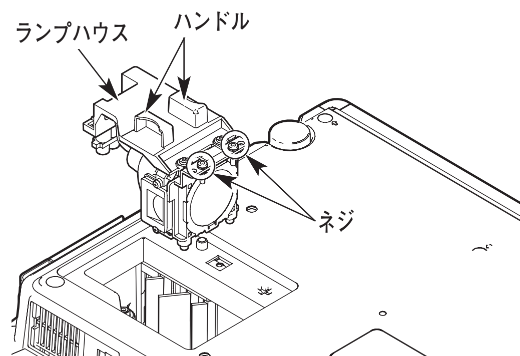
2 (+)ドライバーでネジ（1本）をゆるめてランプカバーをはずします。

3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、取っ手を持ってランプハウスごと引き出します。

4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。

5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。





ガラス面を手で触って汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ(黄)の点灯が消えます。

ランプカウンターのリセットのしかたは、50ページの「ランプカウンターリセット」の設定を参照ください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないように保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

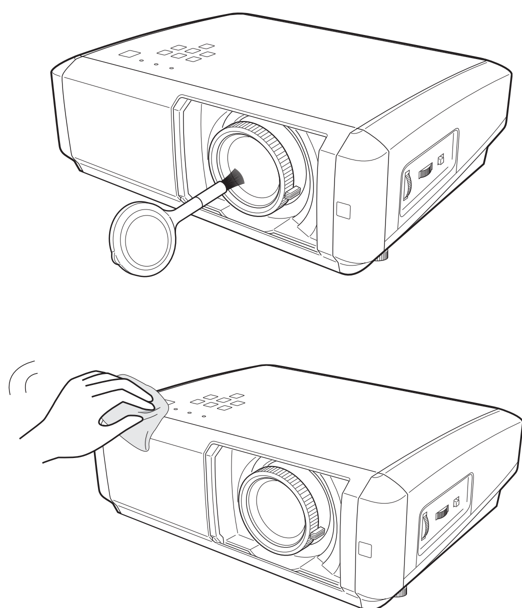
レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

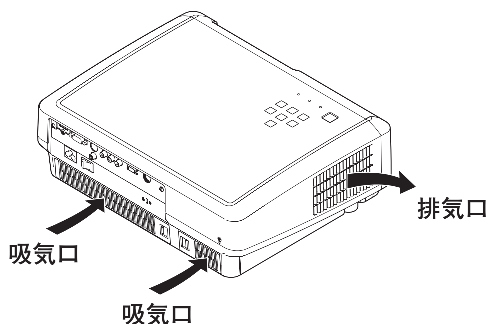
● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。(掃除のしかたは 、次ページを参照)

● 吸気口のお手入れ ●

吸気口周辺は、掃除機などでホコリを取り除いてください。

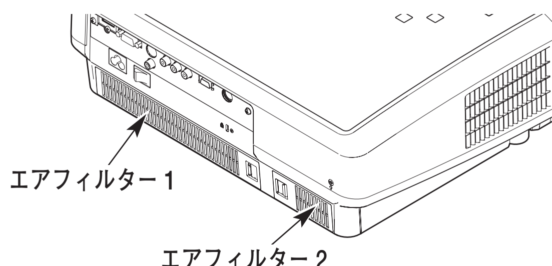




エアフィルターはこまめに掃除してください

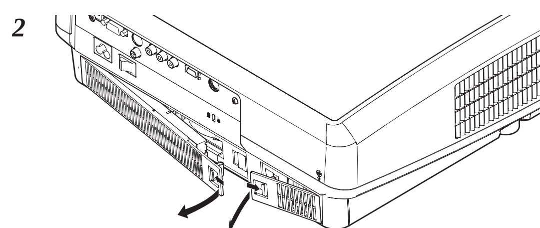
エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。

1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。



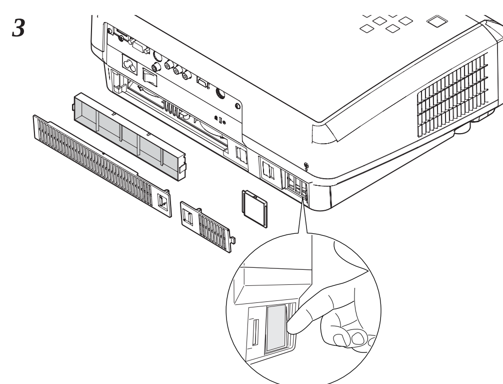
2 エアフィルターカバーのツメを押し、エアフィルターカバーをはずします。

2



3 エアフィルターのツメの部分をひっかけて、エアフィルターを本体からはずします。

3



4 エアフィルターのホコリを掃除機などで取ります。
※ 水洗いはできません。
※ 破れないようご注意ください。

5 エアフィルターを本体へ取り付けます。

6 エアフィルターカバーのツメを本体のみぞにあわせます。エアフィルターカバーを上から押さえ、パチンとなるまでしっかり閉じます。

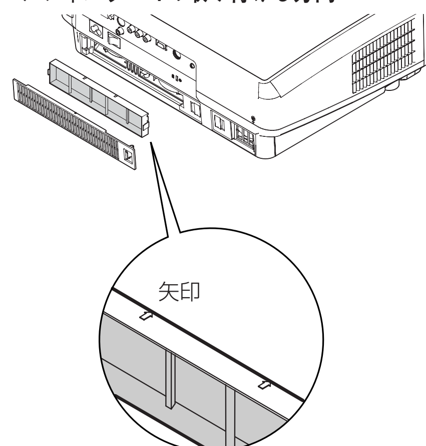
上記「5」の補足

エアフィルターを取り付けるときは、その向きに注意してください。

エアフィルター1：
矢印のある面を上にして、矢印の先を本体へ向けて取り付けます。

エアフィルター2：
内側のツメを本体のみぞにあわせ、取り付けます。

エアフィルター 1の取り付ける方向



エアフィルター（1）の交換

エアフィルターの汚れがひどいときは、取り替え用エアフィルターと交換してください。取り替え用エアフィルター（別売）は、お買い上げの販売店にご相談ください。
※ 交換できるエアフィルターはエアフィルター 1のみです。

・取り替え用エアフィルターの品番：610 324 6215
・プロジェクターの品番： LP-Z5

※ 交換方法は上記を参考にしてください。

●お掃除の際にご注意ください●

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取りはずした状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

ブロアを使って内部部品に付いたホコリを取りのぞく

プロジェクター内部の光学部品にホコリなどが付着すると、投映画面の輝度低下や、画面に影となって投映され、画質の低下を招きます。本機は高倍率のレンズ、高画質機能の搭載で、微少なホコリや異物などもスクリーンに影となって現れやすくなっています。
本機には内部部品（光学部品など）の掃除を行なうための窓（クリーニング窓）が本体底面に設けられています。長期間プロジェクターをご使用のときや、投映画面にホコリなどの影が生じた場合付属のブロアで掃除を行なってください。

付属のブロアおよびノズルと「セッティング」メニューの「クリーニング」機能（☞48ページ）を使って、プロジェクター内部に入ったホコリを取りのぞきます。

※ この操作で完全にホコリを取りのぞくことができないときもあります。その場合は、お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。


警　告


禁　止

付属のブロア（およびノズル）を使い、クリーニングを行なうときは、以下のことにご注意ください。

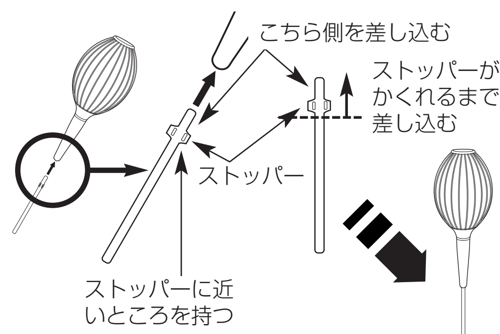
- 付属のブロアおよびノズル以外のものは使用しないでください。
  付属以外のものを使用すると、故障や破損の原因になるおそれがあります。そのさいに発生した故障や破損は保証することができません。
  ※ LP-Z5（本機）に付属のブロアはLP-Z4、LP-Z3、LP-Z1Xにはご使用になれません。
- 市販のエアスプレーは冷気により内部部品（液晶パネル）が故障するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- 本体は必ず底面を上に向けて置いてください。
- 本体に傷がつかないように、机や床の上に柔らかい布などを敷いて、その上に本体を置くようにしてください。そのさいは、急激に動かさずゆっくりと置くようにしてください。
  また、動かすときに電源コードなどが抜けないようにお気をつけください。
- クリーニング以外のときに、[ボトムカバー] を開けないでください。また [クリーニング窓] に異物、水などが入らないようにご注意ください。
  異物、水などが入ると、故障・感電・火災の原因となるおそれがあります。万一、異物、水などが入った場合は、すみやかに電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- クリーニング中に、[クリーニング窓] から中をのぞき込まないでください。
  強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。（吸気口や排気口ものぞかないでください。）
- ブロアおよびノズルは本体のクリーニングのみにお使いください。クリーニング以外には絶対にご使用にならないでください。また、取扱いにもじゅうぶんご注意ください。
  ブロアを人（とくに目・口・耳など）に向けて使用しないでください。また、お子様があやまって口に入れたり、飲み込んだりしないようご注意ください。
  事故やけがをするおそれがあります。
- ブロアからノズルをむりやり引き抜かないでください。万一ノズルが抜けた場合はすみやかにブロアに差し込んでください。（下記参照）
- ご使用中は本体が熱くなっていたり、排気口から温風が吹き出ていますので、ご注意ください。

クリーニング中に、万一異常が発生した場合（煙が出る、異音・においがする、など）すみやかに電源スイッチを切り、電源コードを抜き、お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

万一、ノズルがはずれたら

ノズルにはストッパーがついています。ストッパーのある方をブロアに差し込みます。ストッパーがかくれるまでブロアにしっかりと差し込みます。
差し込むとき、ノズルが折れたり、つぶれないようにストッパーに近いところを持つようにしてください。

※ 絶対にむりやりノズルをブロアから抜かないでださい。



「セッティング」メニューの「クリーニング」機能を使ってホコリを取りのぞく

1 ［MENU］ボタンを押してメニューを出し、［ポイント］ボタンの上下でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。［ポイント］ボタン右または［OK］ボタンでサブメニューに入ります。

2 ［ポイント］ボタンの上下で「クリーニング」の項目を選択し、［OK］ボタンまたは［ポイント］ボタン右を押します。

3 投映画面が一時的に消えます。

4 プロジェクターを裏返します。(+)ドライバーでネジ（1本）をゆるめて［ボトムカバー］をはずします。

※ 本体に傷がつかないように、机や床の上に柔らかい布などを敷いて、その上に本体を置くようにしてください。そのさいは、急激に動かさずゆっくりと置くようにしてください。また、動かすときに電源コードなどが抜けないようにお気をつけください。

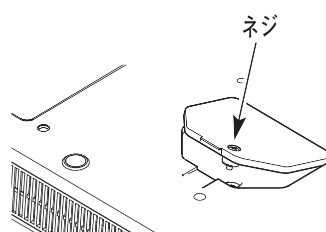
5 ［クリーニング窓］にノズルを入れます。

6 投映画面でホコリを確認しながら、内部に空気を送り込みます。

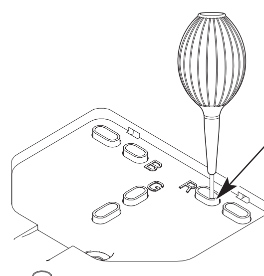
7 終了するときは、ノズルを抜き、［ボトムカバー］を元に戻します。ネジを締めて固定します。

8 プロジェクターをもとの設置方向へ戻し、操作パネルまたはリモコンのボタン（どれでも）を押し、「クリーニング」機能を終了させます。

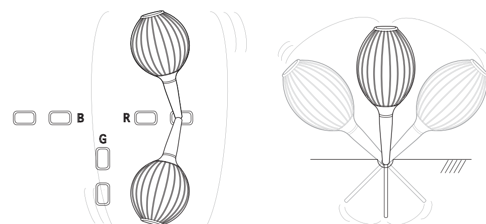
※ クリーニングのとき以外は、必ず［ボトムカバー］を閉じておいてください。とくに投映中に［ボトムカバー］が開いていると、異物が混入し光学部品が破損するおそれがありますので、ご注意ください。







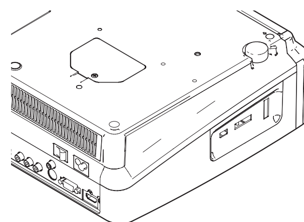
ノズルは途中で止まるようになっていますが、むりやり押し込まないでください。むりやり曲げたりすると、折れて中に入ってしまうおそれがあります。



左右に位置を変えながら掃除してください。
(むりに曲げないでください)

※ 付属のブロアおよびノズル以外のものは使用しないでください。また、市販のエアスプレーは冷気により内部部品（液晶パネル）が故障するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。そのさいに発生した故障や破損は保証することができません。



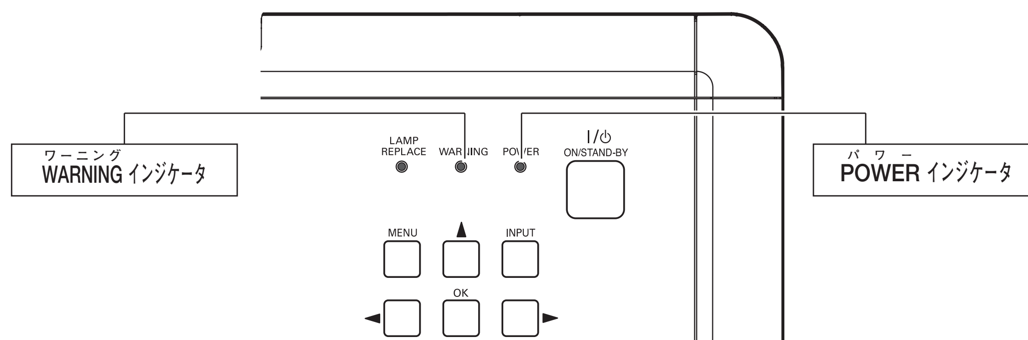




［R/G/B］のどこにノズルを挿入するの？

画面を見たとき、
- 赤い斑点（ホコリ）などが目立つ場合は、［クリーニング窓（R）］にノズルを挿入します。
- 緑色の斑点（ホコリ）などが目立つ場合は、［クリーニング窓（G）］にノズルを挿入します。
- 青い斑点（ホコリ）などが目立つ場合は、［クリーニング窓（B）］にノズルを挿入します。

内部の温度上昇について



WARNING インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING］インジケータが赤く点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、［POWER］インジケータが赤く点滅します。（［WARNING］インジケータも点滅を続けます。）温度が下がると［POWER］インジケータが赤く点灯し、リモコンおよび本体の［ON/STAND-BY］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING］インジケータの点滅が消えます。［WARNING］インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。エアフィルターを掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～35℃）
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、［POWER］インジケータが赤く点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING］インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、WARNINGインジケータが点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、［WARNING］インジケータが赤く点灯します。このとき、リモコンおよび本体の［ON/STAND-BY］ボタンでの電源入り切りはできなくなります。
このような時は、主電源スイッチを切り、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直しプロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、［WARNING］インジケータが点灯する場合、プロジェクターの点検を取扱販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続し、主電源スイッチを入れたまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態			プロジェクターの状態
POWER 緑/赤/オレンジ	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
●（消灯）	●（消灯）	●（消灯）	主電源スイッチが切れているか、電源コードがコンセントから抜けています。
（点灯：赤）	●（消灯）	✻	プロジェクターはスタンバイ状態です。［ON/STAND-BY］ボタンを押すと動作します。
（点滅：オレンジ）	●（消灯）	✻	［電動シャッター］に異常があります。（シャッターが途中で止まっています）
○（点灯：緑）	●（消灯）	✻	プロジェクターは正常に動作しています。
（点滅：赤）	●（消灯）	（点滅：黄）	ランプが点灯しません。ランプの寿命かまたはランプが故障しています。
（点滅：赤）	（点滅：赤）	✻	プロジェクターの内部温度が高くなっています。［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、［POWER］インジケータが点灯（下記枠内の状態）に変わります。
（点灯：赤）	（点滅：赤）	✻	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。（［WARNING］インジケータは点滅したままです）［ON/STAND-BY］ボタンを押すと、［WARNING］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
（点滅：赤）	●（消灯）	✻	ランプの冷却中です。インジケータが赤の点灯に変わるまで、［ON-/STAND-BY］ボタンを押しても始動することはできません。
（点灯：赤）	（点灯：赤）	✻	プロジェクターの内部に異常が検出されました。［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。一度主電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
（点滅：緑）	●（消灯）	✻	パワーマネージメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ ･･･点灯：緑　（点滅） ･･･点滅：緑　（斜線） ･･･点灯：赤　（斜線点滅） ･･･点滅：赤　（二重丸点滅） ･･･点滅：オレンジ
（灰色点滅） ･･･点滅：黄　● ･･･消灯

✻ ［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するとランプの寿命です。（正常時は消灯）すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。☞50、51ページ
［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するまでの時間は、ご使用状況（ランプモードの状態）によって異なります。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。 ● 主電源スイッチはONになっていますか。 ● 電源は入っていますか。[ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。 ● [POWER] インジケータが消えているとき、赤く点滅しているときは、[ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源が 入りません。 ● [WARNING] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、[ON/STAND-BY] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。	24 25 25、26 25、26 56、57
	レンズシフトが動かない	● [レンズシフトロック] を確認してください。	19
オープニング	オープニング画面が表示されない	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	46
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	● 「ロゴ」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	46
画像・画質	画像が映らない	● ビデオ機器やコンピュータは正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと約20秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(「オンスクリーン表示：カウントオフまたは、オフ」のときをのぞく) ● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは、合っていますか。 ● 使用温度範囲（5℃～35℃）からはずれていませんか。 ● 「NO SHOW」モードになっていませんか。操作パネルまたはリモコンのボタン（どれでも）を押してみてください。 ● 「クリーニング」機能になっていませんか。操作パネルまたはリモコンのボタン（どれでも）を押してみてください。 ● コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切換はコンピュータの取扱説明書を確認してください。	21～23 25 31 28 48
	画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、 部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。	27 18 52
	画像が暗い	● 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。「コントラスト」や「明るさ」を、正しく調整してみてください。 ● 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージモード」を確認してみてください。 ● ランプモードが「シアターブラックモード」になっていませんか。「ブライトモード」または「リアクトイメージモード 1（または2)」にしてください。 ● ランプの交換時期が来ていませんか。[LAMP REPLACE] インジケータの点灯はランプ交換をお知らせしています。新しいランプに交換してください。	34 32 28、35 51、57
	実際の色と違う 色がおかしい 色が出ない	● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは、合っていますか。また「イメージ調整」を確認してください。	31、32、62
	画面に縦線が出る	● 「セッティング」メニューの「パネル調整」を確認してください。	49
	ハイビジョン映像に横線が入る	● 「トラッキング」を調整してください。	38
	映像が左右（上下）逆さまに映っている	● 「設置方法」の「天吊り」または「壁掛け」機能を選択していたり、「リア投映」が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	44
	画像の端がゆがんで見える	● レンズシフトを最大まで動かしていませんか。レンズシフトを調整してみてください。	19

故障かなと思ったら（つづき）

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
PC調整	「自動調整」が働かない	● 入力信号を確認してください。入力信号がデジタルのときは選択できません。	62
	画像がゆがんだり、切れたりしている	● 「画面調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	38~41
設定・操作・調整	表示されない機能がある	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	46
	電源を切る前の設定が残っていない	● 項目の調整後「メモリー」しましたか。 調整後の項目は「メモリー」で登録しないと、保存されません。	33
	電源を入れたとき、Component 2(D4-video)が選択されている	● 「D4識別」が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	45
	スクリーンサイズが設定サイズと違うときがある	● 「D4識別」が「オン」になっていると、入力信号により自動識別されます。	45
	「D4識別」を「オン」にしているのに、自動識別をしない	● D端子/コンポーネントケーブルで接続しているときは、自動識別されません。	22
	「パワーマネージメント」が働かない	● 「FREEZE」、「NO SHOW」、「クリーニング」、「パネル調整」が動作中のときは「パワーマネージメント」は作動しません。	
	「キャプチャー」がはたらかない	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	
	選択できないメニューがある	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。無信号時は、「イメージ」「イメージ調整」「画面調整」「スクリーン」が選択できません。	
	Video/S-videoのとき、ビデオデッキで早送り、巻き戻し再生、一時停止をすると、映像が出なくなる	● 「カラーシステム」で「Auto」以外の適したカラーシステムを選択してください。 たとえば「NTSC」など。	31
	HDMI 1 と HDMI 2 の切り替えに時間がかかる	● ご使用のプレーヤによって、認証に時間のかかるものがあります。	31
	HDMI 1または HDMI 2で画像が出ない	● ケーブルを抜き差しするか、プレーヤの電源を入れ直してください。	
リモコン	リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	17 17 17 17 17
	［RESET］ボタンが働かない	● リセットしたい項目をメニューの中から選択してください。	16

故障かなと思ったら（つづき）

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
その他	インジケータが点滅・点灯している	● 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。 ● ［POWER］インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電動シャッター途中で止まっていませんか。	57 57、61
	投映中に異音がする	● 「イメージモード」の選択・切り替えをしているときや、輝度の変化が激しい映像を投映しているときに、モーター音やシャッター音がすることがあります。モードに対応するための動きで、故障ではありません。	

電動シャッターが途中で止まったら！？

［POWER］インジケータがオレンジに点滅して、シャッターに異常があることを知らせます。
シャッターのレールに障害物がないか確認してみてください。

異常なし

① 電源を入れるときに止まった

［ON/STAND-BY］ボタンを押して、再度電源を入れます。

② 電源を切ったときに止まった

シャッターは手動で閉じることができます。
主電源を切り、電源コードを抜くことができます。

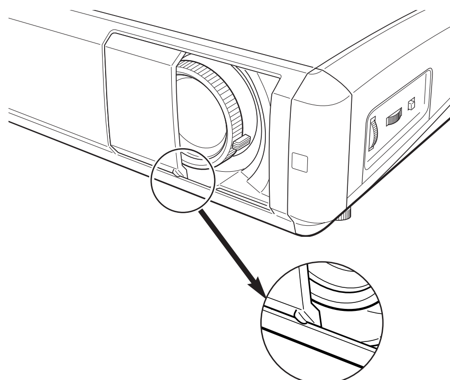
※ このとき［POWER］インジケータもオレンジ色の点滅から赤色の点灯に変わり、主電源を切ることができるようになったことを知らせます。＊

＊ **シャッターを手動で閉じなかったとき**
（［POWER］インジケータはオレンジの点滅）
オレンジ色の点滅が約60秒続くと赤色の点灯に変わります。

シャッターは手動で開閉できます

シャッターの下方部分に取っ手があります。
取っ手を持って、開閉してください。他の部分を持って開閉しないでください。シャッターが破損や故障するおそれがあります。

※ シャッターが開いていても、電源を入れることができます。



ご注意

電動シャッターに、手や異物がふれないようにしてください。
万一、手や異物によりシャッターが閉じなかったときは、安全のためにシャッターは途中で止まりますが、けがや故障の原因となりますので、シャッターとレンズの間に指や異物を入れたりしないでください。とくにお子さまにはご注意ください。



保守とお手入れ

システムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。接続されたコンピュータまたはビデオ機器の信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
640 x 480	31.47	59.88
640 x 480	37.86	74.38
640 x 480	37.85	72.81
640 x 480	37.50	75.00
640 x 480	43.269	85.00
640 x 400	37.861	85.08
720 x 400	37.927	85.039
640 x 480	35.00	66.67
832 x 624	49.72	74.55
1152 x 870	68.68	75.06
800 x 600	35.156	56.25
800 x 600	37.88	60.32
800 x 600	46.875	75.00
800 x 600	53.674	85.06
800 x 600	48.08	72.19
800 x 600	37.90	61.03
800 x 600	34.50	55.38
800 x 600	38.60	60.31
800 x 600	47.90	71.92
800 x 600	32.70	51.09
848 x 480	31.02	60.00

システムモード	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
1024 x 768	48.35	60.00
1024 x 768	68.677	84.997
1024 x 768	60.023	75.03
1024 x 768	56.47	70.07
1024 x 768	60.31	74.92
1024 x 768	44.00	54.58
1024 x 768	63.48	79.35
1024 x 768	62.04	77.07
1024 x 768	61.00	75.70
1024 x 768	46.90	58.20
1024 x 768	58.03	72.00
1152 x 864	64.20	70.40
1152 x 900	61.20	65.20
1152 x 900	61.85	66.00
1280 x 768	47.766	59.870
1280 x 768	60.289	74.893
1280 x 768	68.633	84.837
720p	45.00	60.00
1080i	33.75	60.00（インターレース）
1080i	28.12	50.00（インターレース）

入力信号がデジタルの場合

HDMI入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
D-VGA	640x480	———	59.94/60
D-WXGA6	1280x768	47.776	59.870
D-WXGA7	1280x768	60.289	74.893
D-WXGA8	1280x768	68.633	84.837
D-480i	720x480	———	59.94/60
D-575i	720x575	———	50.00
D-480p	720x480	———	59.94/60

システムモード	解像度	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
D-575p	720x575	———	50.00
D-720p	1280x720	———	59.94/60
D-720p	1280x720	———	50.00
D-1080i	1920x1080	———	59.94/60
D-1080i	1920x1080	———	50.00
D-1080p	1920x1080	———	59.94/60
D-1080p	1920x1080	———	50.00

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ 1024x768、1152x864、1152x864、1152x870、1152x900、1080i、1080pの信号を投映するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
※ ドットクロックが100MHz以上の信号には対応しておりません。
※ 上記以外の信号が入力された場合でも、映像が投映できることがあります。ただし、この場合機能が制限されることがあります。

メニュー内容一覧



イメージ
- ブリリアントシネマ
- クリエイティブシネマ
- ピュアシネマ
- ナチュラル
- リビング
- ダイナミック
- ビビッド
- ユーザーイメージ 1
- ユーザーイメージ 2
- ユーザーイメージ 3
- ユーザーイメージ 4



イメージ調整
- 明るさ ― −31 ～ +31
- コントラスト ― −31 ～ +31
- 色の濃さ ― −31 ～ +31
- 色合い ― −31 ～ +31
- 色温度
  - 高
  - 中
  - 低 1
  - 低 2
  - 低 3
  - ユーザー
- 赤 ― −31 ～ +31
- 緑 ― −31 ～ +31
- 青 ― −31 ～ +31
- 画質 ― −7 ～ +7
- ランプコントロール
  - ブライトモード
  - リアクトイメージモード 1
  - リアクトイメージモード 2
  - シアターブラックモード
- ガンマ補正 ― −7 ～ +7
- プログレッシブ ― オフ / L1 / L2 / フィルム
- レンズアイリス ― −63 ～ +0
- アドバンストメニュー
  - ランプアイリス
    - 自動 1
    - 自動 2
    - オープン
    - クローズ
  - 黒伸張 ― オフ / L1 / L2 / L3
  - コントラストエンハンスメント ― オフ / L1 / L2 / L3
  - 輪郭補正 ― オフ / L1 / L2 / L3
  - カラーマネージメント
  - カラーリスト
    - リスト 0
    - リスト 1
    - リスト 2
    - リスト 3
    - ユーザー
  - ダイナミックガンマ ― オフ / 自動 1/自動 2
  - ゲイン 赤/緑/青
  - オフセット 赤/緑/青
  - ガンマ 赤/緑/青
- リセット ― はい / いいえ
- メモリー
  - ユーザーイメージ 1
  - ユーザーイメージ 2
  - ユーザーイメージ 3
  - ユーザーイメージ 4
  - 戻る



画面調整
- オーバースキャン ― 0 ～ +10
- 水平位置 ― 最大−100 ～ +100
- 垂直位置 ― 最大−100 ～ +100
- 自動調整
- トラッキング ― 0 ～ +31
- 総ドット数 ― 最大−100 ～ +100



スクリーン
- フル
- フルスルー
- ズーム
- 字幕イン
- ノーマル
- ノーマルスルー
- ピッタリワイド 1
- ピッタリワイド 2



インプット
- Video — Auto / PAL / SECAM / NTSC / NTSC4.43 / PAL-M / PAL-N
- S-video — Auto / PAL / SECAM / NTSC / NTSC4.43 / PAL-M / PAL-N
- Component 1
- Component 2 (D4-video)
- HDMI 1
- HDMI 2
- Computer



セッティング
- 言語
  - 英語
  - ドイツ語
  - フランス語
  - イタリア語
  - スペイン語
  - ポルトガル語
  - オランダ語
  - スウェーデン語
  - フィンランド語
  - ポーランド語
  - ハンガリー語
  - ルーマニア語
  - ロシア語
  - 中国語
  - 韓国語
  - 日本語
  - 戻る
- アドバンストメニュー — オン / オフ
- メニュー位置
- キーストーン
- 設置方法 — オフ / 天吊り / 壁掛け
- リア投映 — オン / オフ
- HDMI 設定
  - 1:L1　2:L1
  - 1:L2　2:L1
  - 1:L1　2:L2
  - 1:L2　2:L2
- D4識別 — オン / オフ
- バックグラウンド — 青 / ロゴ / 黒
- オンスクリーン表示
  - オン
  - カウントオフ
  - オフ
- ロゴ
  - オフ
  - 初期設定
  - ユーザー
- 電源オフ確認 — オン / オフ
- キャプチャー — はい / いいえ
- パワーマネージメント — オン / オフ
- リモコンコード — コード 1 / コード 2
- シャッターデモ
- クリーニング
- パネル調整
  - テストパターン 赤
  - テストパターン 緑
  - テストパターン 青
  - チェックパターン
- 高地設定 — オン / オフ
- ランプカウンターリセット — はい / いいえ
- 初期設定 — はい / いいえ



インフォメーション
- 信号
- 水平周波数
- 垂直周波数
- ランプ使用時間
- イメージ
- スクリーン
- インプット
- ランプ状態

仕 様

プロジェクター本体

品　　番	LP-Z5
種　　類	液晶プロジェクター
表 示 方 式	液晶パネル 3枚　3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：0.7型ワイド 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式 画素数：2,764,800 画素 ｛921,600（ 横 1280 × 縦 720 ）×3｝
投映レンズ	1~2.0倍手動ズームレンズ　F= 2.0 ～ 3.0　f= 21.3 ～ 42.6 mm
光源ランプ	高輝度 145W UHPランプ
ズーム/フォーカス調整	手動式
入力 ビデオ入力 (6系統)	・映像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω ・S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C；0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω ・D4映像：コンポーネント映像、ベローズタイプ14ピン ・コンポーネント映像：ピンジャック、Y Cb/Pb Cr/Pr信号 Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Cb/Pb；0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Cr/Pr；0.7Vp-p、インピーダンス75Ω ・HDMI映像（2系統）：ベローズタイプ19ピン デジタル：TMDS(Transition Minimized Differential Signaling)
アナログRGB入力 (1系統)	・ミニD-sub 15ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)
制御入出力、他	サービスポート：ミニDIN 8ピン
走査周波数	水平 15~80KHz、垂直 50~100Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電　　源	AC100V　50/60Hz
消 費 電 力	ブライトモード時 210W / シアターブラックモード時 185W (待機中消費電力 0.5W)
本 体 寸 法	幅 382×高さ 126.8×奥行 304.3 mm (突起部含まず)
質　　量	5.0 Kg

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC1.5V　単3形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅40×高さ24.4×奥行130mm
質量	102g (電池を含む)

付属品

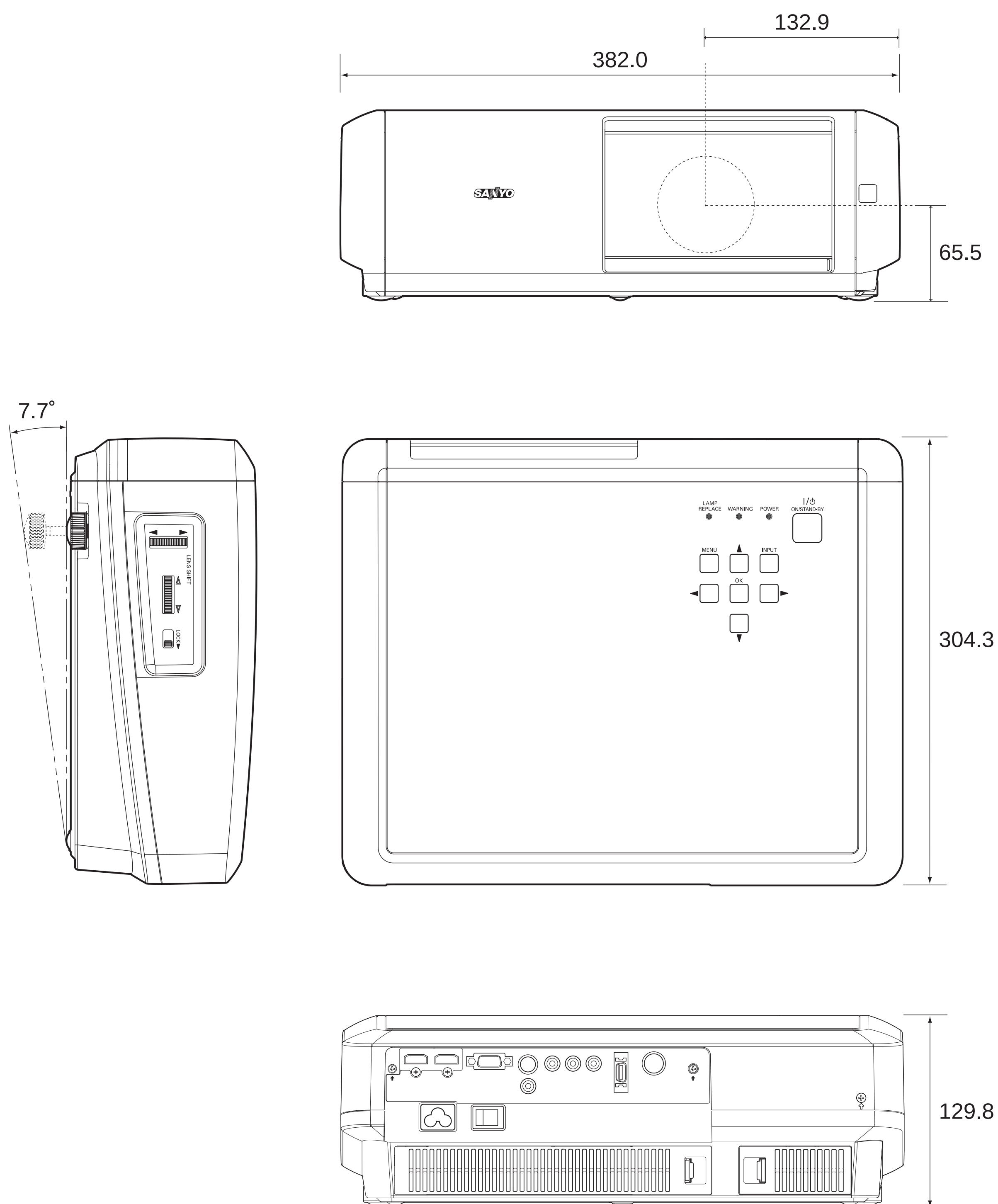
■ リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1個
■ リモコン用 アルカリ乾電池・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2本
■ 電源コード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1本
■ 電源プラグアダプタ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1個
■ 取扱説明書
■ 保証書
■ ユーザー登録カード
■ 個人情報保護シール
■ お客さまご相談窓口一覧
■ クリーニング用ブロア（およびノズル）・・・・・ 1個

別売品

■ 低天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHS-US01
■ 高天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHL-UL01
■ 天吊金具用ベース金具 ・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHB-Z2
■ 壁面取り付けキット ・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CH-EX02
■ 16：9タイプ80型スクリーン ・・・・・・・・・・ 品番：POA-LCV-80HA
■ 16：9タイプ100型スクリーン ・・・・・・・・・・ 品番：POA-LCV-100HA
■ D端子 / D端子 ケーブル（10m ）・・・・・・・・ 品番：POA-CA-DD10
■ D端子 / コンポーネント ケーブル（10m ）・・ 品番：POA-CA-DC10
■ HDMI 端子ケーブル（5m ）・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CA-HDMI
■ コンポーネントケーブル（10m ）・・・・・・・・ 品番：POA-CA-COMP10
■ DVI / D-sub ケーブル（1.8m ）・・・・・・・・・ 品番：POA-CA-DVIVGA

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図



単位：mm

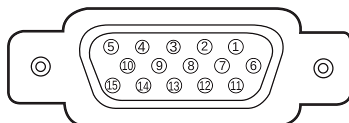
※ 図面のレンズ中心位置は、レンズシフトを左右上下共に移動量をゼロにした場合の値です。

端子の仕様

COMPUTER（コンピュータ入力）

コンピュータからのアナログ（RGB）出力を接続する端子です。接続には、市販のD-sub用コンピュータケーブルをご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

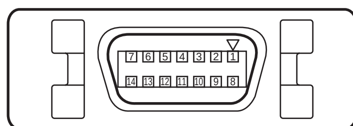


1	R Input	9	未接続
2	G Input	10	接地 (垂直同期)
3	B Input	11	接地
4	未接続	12	未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	未接続
8	接地 (B)		

COMPONENT 2（D4-BIDEO)（D4映像端子）

D4出力端子を持つビデオ機器やDVDプレーヤ、ハイビジョン受信機、ゲーム機などを接続する端子です。接続には、別売のD端子ケーブルまたは、D端子/コンポーネント用ケーブルをご使用ください。

D端子 14ピン

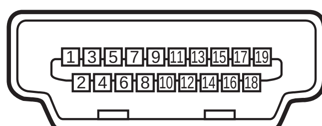


1	Y Input	8	ライン1
2	接地 (Y)	9	ライン2
3	Cb / Pb Input	10	未接続
4	接地 (Cb)	11	ライン3
5	Cr / Pr Input	12	未接続
6	接地 (Cr)	13	未接続
7	未接続	14	未接続

HDMI（HDMI端子 Type A）

HDMI出力端子を持つビデオ機器やDVDプレーヤ、ハイビジョン受信機などを接続する端子です。接続には、別売のHDMI端子ケーブルをご使用ください。

HDMI端子 19ピン(Type A)



1	TMDS Data 2+ 入力	11	接地 (TMDS Clock)
2	接地 (TMDS Data 2)	12	TMDS Clock- 入力
3	TMDS Data 2- 入力	13	未接続
4	TMDS Data 1+ 入力	14	未接続
5	接地 (TMDS Data 1)	15	SCL
6	TMDS Data 1- 入力	16	SDA
7	TMDS Data 0+ 入力	17	接地 (DDC/CEC)
8	接地 (TMDS Data 0)	18	+5V 電源
9	TMDS Data 0- 入力	19	プラグ挿入検出
10	TMDS Clock+ 入力		

さくいん

さくいん（つづき）

さくいん（つづき）

付録

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より１年間です。
（ただし、ランプは ６ヶ月です）

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに
ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、
お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検　●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品か劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか		ご使用中止	
	● 電源スイッチを入れても映像が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。	➡	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ	
品　番	LP-Z5
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

AVカンパニー
プロジェクタービジネスユニット
販売推進部　国内販売推進課
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町1 - 1



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

1AA6P1P5274-- (MC4C)